

fiery Spark

Fiery Spark Professional
PS ソフトリップ PRO

v2.5

印刷ガイド

LP-8800C 対応



Copyright 2004 年 Electronics for Imaging, Inc.
All rights reserved.

本書は著作権により保護されており、著作権に関わる全ての権利が留保されています。Electronics for Imaging, Inc. の書面による承諾がない場合は、本書で許可が明示してある場合を除き、目的、手段を問わず本書のいかなる部分も、その複写や伝達を禁じます。本書の内容は予告なしに変更することがあります。また、Electronics for Imaging, Inc. はその内容についての責任を表明するものではありません。

本書で説明するソフトウェアは使用許可にもとづいて提供され、使用許可条件に従って使用または複製する場合に限り許可されるものとします。

Patents: 4,917,488, 4,941,038, 5,109,241, 5,150,454, 5,150,454, 5,170,182, 5,212,546, 5,278,599, 5,335,040, 5,343,311, 5,424,754, 5,467,446, 5,506,946, 5,517,334, 5,537,516, 5,543,940, 5,553,200, 5,565,960, 5,615,314, 5,619,624, 5,625,712, 5,640,228, 5,666,436, 5,760,913, 5,818,645, 5,835,788, 5,866,856, 5,867,179, 5,959,867, 5,970,174, 5,995,724, 6,002,795, 6,025,922, 6,041,200, 6,046,420, 6,065,041, 6,067,080, 6,112,665, 6,116,707, 6,118,205, 6,122,407, 6,134,018, 6,141,120, 6,151,014, 6,166,821, 6,184,873, 6,185,335, 6,201,614, 6,215,562, 6,219,659, 6,222,641, 6,224,048, 6,225,974, 6,226,419, 6,239,895, 6,256,108, 6,265,676, 6,266,051, 6,269,190, 6,289,122, 6,292,177, 6,292,270, 6,300,580, 6,310,697, 6,323,893, 6,326,565, 6,327,047, 6,327,050, 6,327,052, 6,330,071, 6,331,899, 6,335,723, 6,340,975, 6,341,017, 6,341,018, 6,341,307, 6,348,978, 6,356,359, 6,369,895, 6,373,003, 6,381,036, 6,400,443, 6,414,673, 6,424,340, 6,429,949, 6,449,393, 6,456,280, 6,476,927, 6,490,696, 6,501,461, 6,501,565, 6,519,053, D341,131, D406,117, D416,550, D417,864, D419,185, D426,206, D430,206, D439,851, D444,793, RE33,973, RE36,947

商標

Bestcolor, ColorWise, EDOX, EFI, Fiery, Fiery ロゴ, Fiery Driven, Rip-While-Print, Spot-On は、米国特許商標庁および / またはその他諸国における Electronics for Imaging, Inc. の登録商標です。

AutoCal, AutoGray, Best, Best ロゴ, Changing the Way the World Prints, ColorCal, Command WorkStation, Device IQ, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, EFI ロゴ, EFICOLOR, EFI Color Profiler, EFI Production System, EFI ScanBuilder, Everywhere YouGo, Fiery Driven ロゴ, Fiery X2, Fiery X2e, Fiery X2-W, Fiery X3e, Fiery X4, Fiery ZX, Fiery Z4, Fiery Z5, Fiery Z9, Fiery Z16, Fiery Z18, Fiery Document WorkStation, Fiery Downloader, Fiery Driver, Fiery FreeForm, Fiery Link, Fiery Prints, Fiery Print Calibrator, Fiery Production System, Fiery Scan, Fiery ScanBuilder, Fiery Spark, Fiery Spooler, Fiery WebInstaller, Fiery WebScan, Fiery WebSpooler, Fiery WebStatus, Fiery WebTools, Intelligent Device management ロゴ, Memory Multiplier, NetWise, PrintMe, PrintMe ロゴ, PrintMe Enterprise, PrintMe Networks, RIPChips, ScanBuilder, Splash, Splash ロゴ, Unimobile, Unimobile ロゴ, Velocity, Velocity Balance, Velocity Build, Velocity Design, Velocity Estimate, Velocity Exchange, Velocity OneFlow, Velocity OneFlow ロゴ, Velocity Scan, VisualCal は、Electronics for Imaging, Inc. の商標です。

Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Illustrator, PostScript, Adobe Photoshop, Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では登録されています。Apple, Apple ロゴ, AppleShare, AppleTalk, EtherTalk, LaserWriter, Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft, MS, MS-DOS, Windows は米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があります、本書により承諾されています。

法律上の注意

ソフトウェアまたはユーザマニュアルに表示される PANTONE[®] カラーは、Pantone, Inc (以下 Pantone 社) が定義するカラーと一致しないことがあります。正確なカラーを確認するには、最新の PANTONE カラー出版物を参照してください。PANTONE[®] およびその他 Pantone 社の商標は Pantone 社の所有物です。©Pantone, Inc., 2003

Pantone 社は、Electronics for Imaging, Inc. の製品またはソフトウェアと併用する場合のみ Electronics for Imaging, Inc. に認可するカラーデータおよび / またはソフトウェアの著作権所有者です。Electronics for Imaging, Inc. の製品またはソフトウェアを配付する場合を除いて、PANTONE カラーデータおよび / またはソフトウェアを他のディスクまたはメモリにコピーすることは禁止されています。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) により開発されたソフトウェアが組み込まれています。

限定権利条項 (米国においてのみ適用)

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 252.227.7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項 (c) (1) (ii) に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項 (a) から (d) に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics for Imaging, Inc. の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

アメリカ合衆国印刷
再生紙印刷

Part Number : 45040545

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下の使用許諾契約をお読みください。本ソフトウェアをご使用になった場合は、本使用許諾のすべての条項に従うべき義務を負うことになります。これらの条項の受諾あるいは同意ができない場合は、10日以内にお買上げ販売店に本製品とその全梱物を返却して全額払戻しを受けることができます。

Electronics for Imaging, Inc. は、お買上げいただいた Fiery Spark Professional PS ソフトリッパ PRO（以下 Fiery Spark PRO）に同梱されている Adobe Systems Incorporated の PostScript[®] ソフトウェアなどのソフトウェアおよび付属の文書（以上まとめて「ソフトウェア」という）について、以下の条項に基づいて非独占的、譲渡不可の使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

- a. 本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに Fiery Spark PRO においてのみ使用できます。
- b. お客様自身の日常業務においてのみ、EFI Fiery[®] に同梱の特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号（以下「書体」という）の設計、書体、ウェイト、バージョンを再生表示できます。
- c. ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、Electronics for Imaging, Inc. の商標（以下「商標」という）を使用できます。
- d. 承継人が本使用許諾の全ての条項に従うことに合意するかぎり、本使用許諾に基づくお客様の Fiery Spark PRO に関する全権利を承継人に譲渡することができます。

以下の内容はお客様には認められていません。

- a. プリント解像度 600 dpi 以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは Fiery Spark PRO 以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。
- b. お買上げいただいた Fiery Spark PRO ユニットの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書、あるいはこれらの一部の直接または間接的なあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、Fiery Spark PRO のハードディスクドライブに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、直接または間接的なあらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。その文書のコピーを作成することも認められません。
- c. ソフトウェア、コード化フォントプログラム、あるいは付属の文書を変更、逆アセンブル、解読、あるいはリバースエンジニアリングすること。
- d. ソフトウェアをレンタル、あるいはリースすること。

所有権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書については、Electronics for Imaging, Inc. とその供給元が持つものとし権利やその他知的所有権は Electronics for Imaging, Inc. とその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本使用許諾ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。Electronics for Imaging, Inc. あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいは Electronics for Imaging, Inc. やその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。Electronics for Imaging, Inc. から妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本使用許諾で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可是自動的に中止され、Electronics for Imaging, Inc. に対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから 90 日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することを Electronics for Imaging, Inc. は保証します。この保証の下で Electronics for Imaging, Inc. の責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様が Fiery Spark PRO を Electronics for Imaging, Inc. または Electronics for Imaging, Inc. の正規の代理店に返却することを前提として）Electronics for Imaging, Inc. の選択により、異常を回復または正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代金を払い戻し本使用許諾を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に關する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的限定保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をも Electronics for Imaging, Inc. は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規のサービス店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本使用許諾によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をも Electronics for Imaging, Inc. は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。Electronics for Imaging, Inc. はソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

限定責任

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書の使用によって引き起こされるデータ損失、利益損失、回復費用、その他特別な、付随的、結果的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、あるいはどのような事由に基づいていようと Electronics for Imaging, Inc. またはその供給元は責任を負いません。この限定条項は Electronics for Imaging, Inc. やすべての正規販売店が、そのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。Fiery Spark PRO の価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。但し、米国の州や司法管轄区域によっては結果的、あるいは付随的責任の適用除外や限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されないことがあります。

輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本使用許諾の実質的な違反となります。

政府による使用

アメリカ合衆国政府による使用、複製、開示は、FAR 12.212 あるいは DFARS 227.7202-3-227.7202-4 に定める限定内容、および米国連邦法に必要とされる範囲において FAR 52.227-14、限定付権利 (June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987) または FAR 52.227-19 (June 1987) に定める最低限の限定権利に従うことを条件とします。本使用許諾に従って提供される技術データの範囲において、技術データは FAR 12.211 および DFARS 227.7102-2 によって保護されており、またアメリカ合衆国政府によって明確に必要とされる範囲で、技術データは DFARS 252.227.7015 (November 1995) および DFARS 252.227-7037 (September 1999) に定める限定権利に従うことを条件とします。前述の規定が修正または優先される場合、それと同等の規定が適用されるものとします。契約者名は Electronics for Imaging, Inc. です。

第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated (以下 Adobe 社) (住所: 345 Park Avenue, San Jose, California 94110-2704) は、本使用許諾によって使用許諾が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本使用許諾に規定される条項の範囲で、本使用許諾における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項は Adobe 社の利益のために明示的に設定されたものであり、Electronics for Imaging, Inc. に加え Adobe 社がこれを行行使うことができます。

一般条項

本使用許諾はカリフォルニア州法に準拠します。

本使用許諾はお客様と Electronics for Imaging, Inc. との全面的合意を表したものであり、本ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書に関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本使用許諾の一部の条項が無効になった場合でも、本使用許諾のそれ以外の部分は効力を有します。

お問い合わせの場合は、下記の住所まで書面にてご連絡ください。

Electronics for Imaging
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404

目次

はじめに

本書について	xi
Fiery Spark PRO の動作原理	xii
PostScript プリンタドライバとプリンタ記述ファイル	xiii
Fiery Spark PRO の使用前に	xiii
本書で使用する約束事について	xiv

第 1 章： Windows からの印刷

アプリケーションからの印刷	1-1
Windows でのプリントオプションの設定および印刷	1-2
Windows でのプリントオプションのデフォルト設定方法	1-5
ジョブテンプレートの使用	1-6
ショートカット	1-9
ショートカットの使用	1-9
カスタム用紙サイズの設定および印刷方法	1-10
Windows 98/Me でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷	1-11
Windows NT 4.0 でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷	1-12
Windows 2000/XP でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷	1-14
外部で印刷する時のファイルの保存	1-16

第 2 章： Mac OS からの印刷

Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) でのアプリケーションからの印刷	2-1
Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) での印刷設定と印刷	2-2
Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) でのカスタムページサイズの設定と印刷	2-6
Mac OS X (Native) でのアプリケーションからの印刷	2-8
Mac OS X (Native) での印刷設定および印刷	2-8

第 3 章 : UNIX からの印刷

Fiery Spark PRO への印刷	3-1
----------------------	-----

第 4 章 : ファイルとフォントのダウンロード

Fiery Downloader	4-1
Fiery Downloader を使った印刷	4-3
欧文プリンタフォントのダウンロードと管理	4-7

第 5 章 : 印刷ジョブの管理

Fiery WebTools	5-1
「状況」WebTool での Fiery Spark PRO の状況のチェック	5-3
「WebLink」WebTool での情報アクセス	5-4
「プリンタモニタ」WebTool でのトナー状況確認	5-4

第 6 章 : EFI Hot Folder の使用方法

EFI Hot Folder の概要	6-1
ファイル形式の制限	6-2
EFI Hot Folder コントロールパネルの使用方法	6-2
Hot Folder の作成および除去	6-3
Hot Folder を使用可能 / 停止する方法	6-6
Hot Folder の環境設定	6-7
Hot Folder のプロパティ設定	6-8
Hot Folder のカスタム設定	6-8
Hot Folder のプリントオプションを設定	6-9
Hot Folder ジョブログの表示	6-10

付録 A : プリントオプションの設定

プリントオプションの設定場所	A-1
プリントオプション書き換えの優先順位	A-2

プリントオプションの詳細	A-2
プリントオプション補足情報	A-14

付録 B : Fiery Spark PRO 提供フォント

和文フォント	B-1
欧文フォント	B-1

付録 C : トラブルシューティング

最適性能の維持	C-1
トラブルシューティング	C-2
印刷上の一般的な問題	C-2
印刷結果の品質の問題	C-4
Fiery Downloader の問題	C-6
Fiery WebTools 一般の問題	C-8

索引

はじめに

Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO は、カラープリンタをネットワーク上でプリンタとして機能できるようにします。最終書類の印刷やオフセット印刷前の校正時の印刷に Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を利用できます。通常のプリンタによる印刷同様、Windows の「プリンタ」ダイアログボックス、または Mac OS の「セレクト」から Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を選択し、どのアプリケーション内からでも Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO に印刷することが可能です。

注意：本書では以後、「Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO」を「Fiery Spark PRO」と表記します。また、Fiery Spark PRO がインストールされている Windows XP コンピュータを「Fiery Spark PRO サーバ」と表記します。

注意：Fiery Spark PRO は LP-8800C プリンタをサポートします。本書では LP-8800C プリンタを「プリンタ」と表記します。

Command WorkStation を使用すると、Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO に送信されるすべてのジョブをオペレータが管理できます。それらの機能のいくつかは、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler でも利用可能です。Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO の取扱説明書は、リモートワークステーションから送信されるジョブを管理するオペレータが存在するものと想定して書かれています。Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の詳細については、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

本書について

本書では、次の章と付録の構成で、リモートユーザがネットワークを介してジョブを送信するために必要な情報を記載しています。

- 第 1 章：Windows からの印刷
- 第 2 章：Mac OS からの印刷
- 第 3 章：UNIX からの印刷
- 第 4 章：ファイルとフォントのダウンロード
- 第 5 章：印刷ジョブの管理
- 第 6 章：EFI Hot Folder の使用方法
- 付録 A：プリントオプションの設定
- 付録 B：Fiery Spark PRO 提供フォント
- 付録 C：トラブルシューティング

Fiery Spark PRO の動作原理

Fiery Spark PRO はネットワーク接続されたコンピュータからファイルを受信し、そのファイルをラスターライズ(RIP)し、プリンタのプリントエンジンに RIP 済みデータを送信して印刷します。Fiery Spark PRO が接続されていてもプリンタではコピーをとることができます。

Windows または Mac OS は、アプリケーションからの印刷時に、PostScript プリンタドライバとプリンタ記述 (PPD) ファイルによって Fiery Spark PRO と通信し、「プリント(印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark PRO 固有オプションを指定します。

PostScript プリンタドライバとプリンタ記述ファイル

PostScript プリンタドライバはアプリケーションとプリンタ間の印刷通信を管理するソフトウェアです。アプリケーションによって生成されたコマンドを解析し、プリンタ固有の PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルの情報を加えて、すべての情報をプリンタが解析可能な PostScript 言語に書き換えます。つまり、PostScript プリンタドライバは、オリジナルファイルと「プリント(印刷)」ダイアログボックスで指定されたオプションにもとづいて PostScript ファイルを作成します。

PPD ファイルにはプリンタ固有の機能およびサポートされている用紙のサイズや種類などの情報が含まれています。PostScript プリンタドライバは PPD ファイルの情報を読み取り、「プリント（印刷）」ダイアログボックスで選択可能なオプションとして表示します。Fiery Spark PRO 用 PPD には Fiery Spark PRO およびプリンタ固有の機能情報が含まれています。

PPD オプションについての詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

Fiery Spark PRO の使用前に

Fiery Spark PRO を使用する前に以下の項目を確認してください。

1. システム管理者が Fiery Spark PRO の「設定」を完了していること
詳細は『設定管理ガイド』を参照してください。
2. Fiery Spark PRO の「設定」で指定したプリンタのデフォルト値
デフォルト値は印刷ジョブの出力結果に影響します。これらのデフォルト設定についてはシステム管理者に確認してください。
3. コンピュータにユーザソフトウェアが正しくインストールされていること
詳細は『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。
4. カラー出力に関するプリントオプションおよび機能
詳細は『カラーガイド』を参照してください。
5. ネットワーク上で印刷するためのコンピュータの構成
オペレータがすべての印刷ジョブを管理する場合、待機キューのみがユーザから使用可能となっていることがあります。この場合、すべての印刷ジョブは Fiery Spark PRO にスプールされ、オペレータが次の行き先を決めるまで Fiery Spark PRO にホールドされます。
印刷キューが使用可能な場合、印刷キューへジョブを送ると、ジョブは Fiery Spark PRO にスプールされた後、（オペレータなどの介入がないかぎり）ジョブ設定に基づいて RIP され印刷されます。

直接接続が使用可能な場合、Fiery Spark PRO に送られた印刷ジョブはスプールされず、すぐに RIP と印刷が行われます。

6. Fiery Spark PRO が Fiery® WebTools™ 用に設定されていること、またユーザのアクセスレベル

システム管理者がインターネットまたはイントラネットでの Fiery WebTools へのアクセスを許可していない場合があります。

本書で使用する約束事について

- 画面表示のサーバ名は、「AERO」と表記します。
- Fiery Spark PRO の取扱説明書名は『 』内に表示されます。
- Fiery Spark PRO 「設定」とは、Command WorkStation からの設定を意味します（『設定管理ガイド』参照）。
- サブフォルダの表記方法

Windows

たとえば「Folder1」フォルダ内の「Folder2」フォルダ内の「Application」フォルダ内にある「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする場合、

「¥Folder1¥Folder2¥Application」フォルダ内の「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。

と表記します。

Mac OS

たとえば「フォルダ 1」フォルダ内の「フォルダ 2」フォルダ内の「フォルダ 3」フォルダを開く場合、

「フォルダ 1: フォルダ 2: フォルダ 3」フォルダを開きます。

と表記します。

- サブメニューの表記方法

たとえば Windows 98/Me の「スタート」ボタンをクリックして「設定」の「プリンタ」を選択する場合、

Windows 98/Me の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選択します。

と表記します。

- タブ画面の表記方法

たとえば、次の画面で、「メニュー 1」を選んで、「タブ 3」のタブを選択する場合、「メニュー 1：タブ 3」を選択します。

と表記します。

- Fiery Spark PRO 「設定」での設定サブ画面の表記方法

たとえば、Fiery Spark PRO 「設定」で「メニュー 3」を選択し、次の画面で「サブメニュー 2」を選択し、次の画面で「選択肢 1」を選択する場合、

Fiery Spark PRO 「設定」の「メニュー 3：サブメニュー 2：選択肢 1」を選択します。

と表記します。

第 1 章： Windows からの印刷

本章では Windows から Fiery Spark PRO を使って印刷する方法を説明します。Fiery Spark PRO にネットワーク接続されている Windows 対応コンピュータから Fiery Spark PRO に印刷することができます。外部で印刷する場合は 1-16 頁の「外部で印刷する時のファイルの保存」を参照してください。

Windows から印刷する別の方法として、Fiery Downloader を使ってダウンロード印刷する方法、EFI Hot Folder を使って印刷する方法があります。

印刷の方法は以下を参照してください。

- Fiery Downloader を使用したダウンロード印刷 「第 4 章：ファイルとフォントのダウンロード」
- EFI Hot Folder の詳細 「第 6 章：EFI Hot Folder の使用方法」

Fiery Spark PRO に接続の Windows サーバを使用して印刷するための、Windows 環境設定についての詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。ネットワークへの Fiery Spark PRO の接続や、プリンタドライバおよび Fiery ユーティリティのインストール方法については、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

アプリケーションからの印刷

『ユーザソフトウェアインストールガイド』で記述の手順で Fiery Spark PRO の PostScript プリンタドライバをインストールし、適切なポートを設定すると、ほとんどの Windows アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択するだけで、Fiery Spark PRO に印刷できます。

各アプリケーションから最良のカラー印刷結果を得る方法に関しては、『カラーガイド』または『Fiery カラーリファレンス』を参照してください。

Windows でのプリントオプションの設定および印刷

Windows から印刷するには、Windows 用 PostScript プリンタドライバを使用します。PostScript プリンタドライバは Fiery Spark PRO 提供ユーザソフトウェア CD に含まれています。

PostScript プリンタドライバおよび Fiery Spark PRO プリンタ記述 (PPD) ファイルをインストールすると、プリントオプションの設定を変更できます。Fiery Spark PRO への印刷時に、アプリケーション内で特定ジョブ用にいくつかのプリントオプションを変更することもできます。

ネットワークを介して PC をプリントサーバに接続し Windows アプリケーションから印刷する場合、プリントサーバとしては、Novell サーバ、NT サーバ、または UNIX サーバが必要です。サーバを Fiery Spark PRO に接続する方法については『設定管理ガイド』を参照してください。

アプリケーションからプリントオプションを設定するには、次の手順に従ってください。プリントオプションについての詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

備考：アプリケーションからの設定は、アプリケーションを終了するまで適用されません。

注意：以下の手順では、Windows 2000 の画面を使用します。

Windows 用 Adobe PostScript プリンタドライバでプリントオプションを設定 / 変更し、印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント (印刷)」を選択します。
2. 「プリント (印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark PRO が選択されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。

注意：「プリント (印刷)」ダイアログボックスは、アプリケーションにより異なります。ダイアログボックスについての詳細は、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。



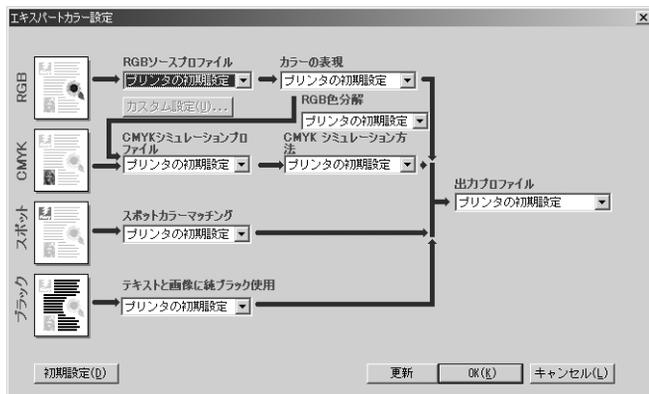
ここで、通常使用するプリントオプションを設定します。

注意：表示されるタブやプリントオプションは、使用するオペレーティングシステムにより多少異なります。プリントオプションについての詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

4. 「ColorWise」オプションバーをクリックします。

「印刷モード」欄で、印刷ジョブに適用する印刷モードを選択します。

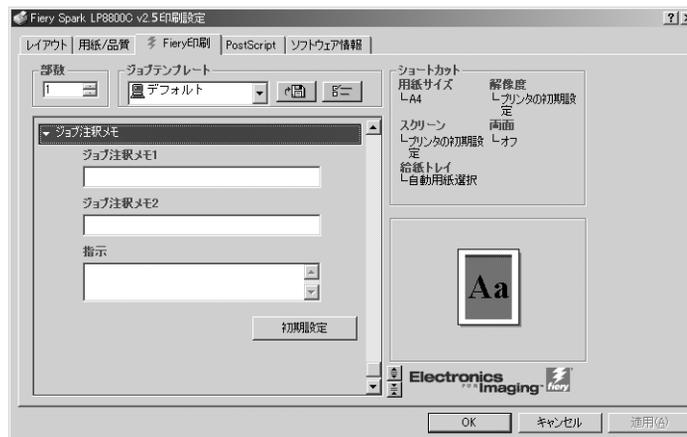
5. 詳細なカラー設定を行う場合は、「エキスパート設定」ボタンをクリックします。



双方向通信が有効になっている場合は、「更新」ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、Fiery Spark PRO の現在の設定値を確認することができます。双方向通信については、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

「エキスパートカラー設定」での各項目の設定が終了したら、「OK」をクリックして「ColorWise」オプションバーに戻り、その他のオプションを設定してください。

6. 「ジョブ注釈メモ」オプションバーをクリックし、必要に応じて情報を入力します。



- ジョブ注釈メモ

ユーザやジョブに関する情報を入力します。この情報は、Command WorkStation の「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」、またジョブログに表示されます。システム管理者またはオペレータは、これらの情報を編集または削除できません。

- 指示

ジョブに関するオペレータへの指示を入力します。この指示は、Command WorkStation の「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」に表示されます。ジョブログには表示されません。システム管理者またはオペレータはこの情報を編集できます。

7. その他のオプションバーをクリックし、印刷ジョブ用に必要な設定を行います。

各オプションバーに含まれているプリントオプションを表示するには、カーソルをオプションバーの上に移動してください。ポップアップメニュー内にオプションバー名とその中のプリントオプション名が表示されます。

ここで指定するプリントオプションは Fiery Spark PRO とプリンタに固有のもので、ここでの設定は Fiery Spark PRO 「設定」または Fiery ColorWise Pro Tools での値を上書きします。プリントオプションの設定は Command WorkStation の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更できます。

「プリンタの初期設定」を選択すると、印刷ジョブは工場出荷値、Fiery Spark PRO 「設定」、または ColorWise Pro Tools での値に基づいて印刷されます。各オプションバーで、変更したプリントオプションをデフォルト値に戻す場合は、「初期設定」をクリックします。他のオプションバーへの影響はありません。

プリントオプションの詳細については「付録 A：プリントオプションの設定」、Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler などのジョブ管理ツールの詳細については、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

注意：プリントオプションによっては、アプリケーションでも指定可能なものがありますが、アプリケーションではなくここで指定してください。アプリケーションで指定すると適切に印刷できなかったり、処理に時間がかかることがあります。

注意：競合するオプションを選択した場合、警告ダイアログボックスが表示されることがあります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

8. 「OK」をクリックし、「プロパティ」ダイアログボックスを閉じます。
9. 「プリント（印刷）」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Windows でのプリントオプションのデフォルト設定方法

Fiery Spark PRO では、頻繁に使用するプリントオプション項目をデフォルト値に設定できます。

プリントオプションをコンピュータのデフォルトに設定するには：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」（Windows 98/Me/NT 4.0/2000）または「プリンタとFAX」（Windows XP）を選択します。

2. Fiery Spark PRO 用アイコンを選んで右クリックし、「プロパティ」(Windows 98/Me) / 「ドキュメントの既定値」(Windows NT 4.0) または 「印刷設定」(Windows 2000/XP) を選択します。
3. 1-3 頁の手順 3 以降を参照してプリントオプションを設定します。
4. 「適用」または「更新」をクリックし、「OK」をクリックします。

オプションバーを閉じたままでのプリントオプションの設定

オプションバーを閉じたままでも、その中のプリントオプションとその内容を表示し、オプション項目を指定できます。

オプションバーを閉じたままでプリントオプションを設定するには：

1. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。
2. オプションバーを右クリックします。
オプションバー内のプリントオプションが表示されます。
3. 設定対象のプリントオプションをクリックします。
プリントオプション内のオプション項目が表示されます。
4. 指定対象のオプション項目をクリックします。
注意：「ジョブ注釈メモ」など、テキスト欄に入力するプリントオプションは、オプションバーを開いて入力する必要があります。

ジョブテンプレートの使用

プリントオプション用の各設定をハードディスクに保存しておくことができます。この機能によって、特定ジョブ用に設定値を保存しておいて必要なときにロードできます。

設定保存用に、クイック設定用ボタンとフル設定用ボタンが用意されています。クイック設定では設定の保存のみできます。フル設定では設定を保存または削除できます。



ジョブテンプレートを作成するには：

1. 「Fiery 印刷」タブでプリントオプションを設定してから、フル設定用またはクイック設定用ボタンをクリックします。



フル設定の場合



クイック設定の場合

注意：「ジョブテンプレート」ダイアログボックスの「更新」ボタンは、Fiery Spark PRO への双方向通信が有効になっている場合にのみ表示されます。双方向通信の設定方法の詳細については、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

2. フル設定の場合は「作成」をクリックし、設定名を入力して「OK」をクリックします。クイック設定の場合は設定名を入力して「OK」をクリックします。

備考：設定名は半角で 32 文字まで入力できます。

3. 「OK」をクリックします。

設定名が「ジョブテンプレート」欄に表示されます。

ジョブテンプレートをロードするには：

- 「Fiery 印刷」タブで、「ジョブテンプレート」からロード対象の設定名を選択します。

選択されたジョブテンプレートにもとづいて、各プリントオプションが自動的に選択されます。

ジョブテンプレートを変更するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、「ジョブテンプレート」から変更対象の設定名を選択します。
選択されたジョブテンプレートにもとづいて、各プリントオプションが自動的に選択されます。
2. 必要に応じてプリントオプションを再設定し、「クイック設定用」ボタン（1-6 頁参照）をクリックします。
3. 「OK」をクリックして、設定の変更を保存します。

ジョブテンプレートをエクスポートするには：

1. 「Fiery 印刷」タブで「フル設定用」ボタン（1-6 頁参照）をクリックします。
2. エクスポート対象の設定名を選択します。
3. 「エクスポート」をクリックします。
4. ファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して「OK」をクリックします。
注意：ここで保存するファイル名は半角 8 文字以内で、名前のあとに「.sav」の拡張子を付ける必要があります。
5. 「ジョブテンプレート」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

ジョブテンプレートをインポートするには：

1. 「Fiery 印刷」タブで「フル設定用」ボタン（1-6 頁参照）をクリックします。
2. 「インポート」をクリックします。
3. インポートするファイルの保存場所を参照し、ファイル名を選択して「OK」をクリックします。
4. 「ジョブテンプレート」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
インポートしたあと、ジョブテンプレートは「ジョブテンプレート」ダイアログボックス内にファイル名ではなく、設定名で表示されます。

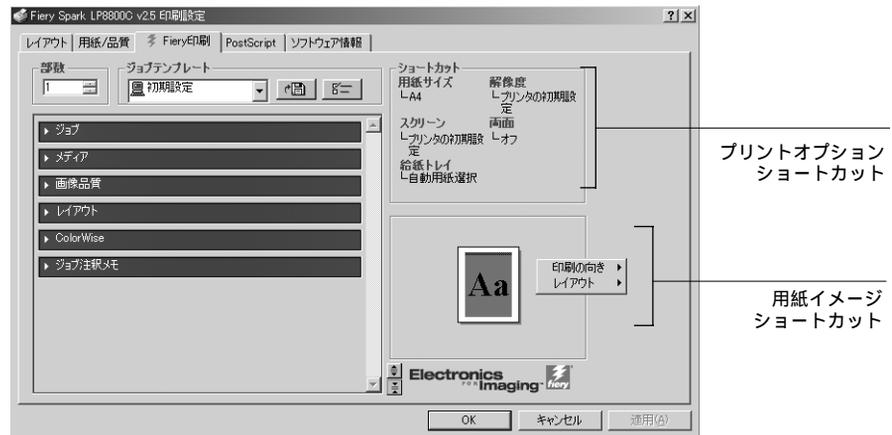
ジョブテンプレートを削除するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで「フル設定用」ボタン（1-6 頁参照）をクリックします。
2. 削除対象のジョブテンプレート名を選択し、「削除」をクリックします。
3. 削除確認のため「はい」をクリックし、「OK」をクリックします。

注意：「初期設定」は削除できません。

ショートカット

「ショートカット」欄では、プリントオプションショートカットと用紙イメージショートカットの2種類のショートカットを使用できます。



ショートカットの使用

プリントオプションショートカット欄には、頻繁に使用するプリントオプションとその設定項目が表示されています。オプションバーと同様、プリントオプションのショートカットを右クリックすることにより、簡単に設定内容を変更できます。

また、用紙イメージショートカット欄では、用紙イメージ表示アイコンを右クリックすることにより、簡単に仕上げ用プリントオプションの設定内容を変更できます。

プリントオプションショートカットを使用してプリントオプションを設定するには：

1. 「Fiery 印刷」タブの「ショートカット」欄で、設定対象のプリントオプションを選択します。
プリントオプション名の真上にカーソルを置くと、カーソルが手の形状になり、プリントオプション名に下線が引かれます。
2. 選択されたプリントオプションをクリックし、設定します。
プリントオプションを右クリックして、表示されるポップアップメニューで設定することもできます。
3. 「OK」をクリックします。

レイアウトまたは仕上げ用オプションによっては、用紙イメージアイコンを右クリックして設定を変更できるものもあります。

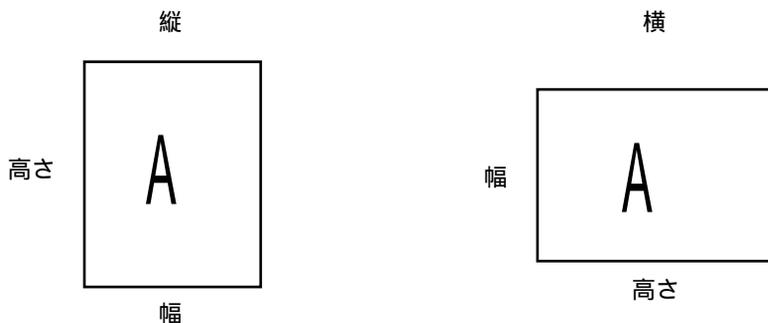
用紙イメージショートカットを使用してプリントオプションを設定するには：

1. 用紙イメージアイコン上にカーソルを置き、右クリックします。
2. 必要に応じてプリントオプションを設定します。
3. 「OK」をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定および印刷方法

印刷ページのサイズを定義することにより、用紙サイズをカスタマイズできます。指定したカスタム用紙は、印刷時にアプリケーションから簡単に選択でき、印刷のたびに定義する必要がありません。

カスタム用紙サイズを定義する場合、アプリケーションでの印刷の向きにかかわらず、用紙の短辺が「幅」、長辺が「高さ」になります。



Windows 98/Me でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷

Windows 98/Me では、以下の手順に従ってカスタム用紙サイズを設定 / 変更し、カスタム用紙サイズで印刷できます。

Windows 98/Me プリントドライバでカスタム用紙サイズを定義するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」を選択します。
2. Fiery Spark PRO 用アイコンを右クリックし「プロパティ」を選択します。
3. 「Fiery 印刷：ジョブ」オプションバーをクリックします。
4. 「カスタム」ボタンをクリックします。



5. 「カスタム用紙サイズの設定」ダイアログボックスで項目を指定します。
「用紙名」欄で指定するカスタム用紙サイズ名は、「用紙サイズ」プリントオプションで表示されます。

6. 「OK」をクリックします。
7. カスタム用紙上の余白を編集する場合は、「余白の編集」をクリックし、必要に応じてオプションを指定した後、「OK」をクリックします。
8. 「適用」をクリックし「OK」をクリックします。

Windows 98/Me プリンタドライバでカスタム用紙サイズを変更するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」を選択します。
2. Fiery Spark PRO 用アイコンを右クリックし「プロパティ」を選択します。
3. 「Fiery 印刷：ジョブ」オプションバーをクリックします。
4. 「用紙サイズ」で変更するカスタム用紙サイズの名前を選択します。
5. 「カスタム」をクリックします。
6. 「カスタム用紙サイズの設定」ダイアログボックスで必要に応じて項目を変更し、「OK」をクリックします。

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. Fiery Spark PRO を選択し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「Fiery 印刷：ジョブ」オプションバーをクリックします。
4. 「用紙サイズ」でカスタム用紙サイズを選択します。
5. 必要に応じて、他のプリントオプションを設定します。
6. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリック後、「印刷（プリント）」ダイアログボックスで「OK（印刷）」をクリックして印刷を開始します。

Windows NT 4.0 でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷

Windows NT 4.0 では以下の手順に従ってカスタム用紙サイズを設定 / 変更し、カスタム用紙サイズで印刷できます。

Windows NT 4.0 でカスタム用紙サイズを定義するには：

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選択します。
2. Fiery Spark PRO 用アイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」を選択します。
3. 「Fiery 印刷：ジョブ」オプションバーをクリックします。
4. 「給紙トレイ」で「用紙トレイ」を選択します。
5. 「ページ設定」タブをクリックします。
6. 「用紙サイズ：PostScript カスタムページサイズ」を選択します。



7. 「PostScript カスタムページサイズ定義」ダイアログボックスで、項目を指定します。
8. 「OK」をクリックします。

Windows NT 4.0 プリンタドライバでカスタム用紙サイズを変更するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」を選択します。
2. Fiery Spark PRO用アイコンを右クリックし「ドキュメントの既定値」を選択します。
3. 「詳細」タブをクリックします。
4. 「用紙 / 出力：用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択し、「カスタムページサイズの編集」ボタンをクリックします。
5. 「PostScript カスタムページサイズ定義」ダイアログボックスで、必要に応じて設定を変更し、「OK」をクリックします。

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. プリンタを選択し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「Fiery 印刷：ジョブ」オプションバーをクリックします。
4. 「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。
5. 必要に応じて、他のプリントオプションを設定します。
6. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリック後、「印刷（プリント）」ダイアログボックスで「OK（印刷）」をクリックして印刷を開始します。

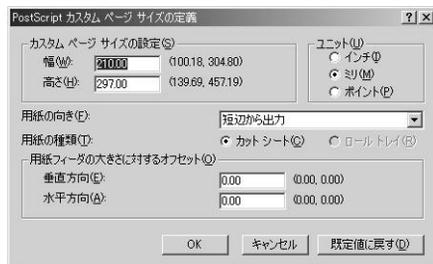
Windows 2000/XP でのカスタム用紙サイズの設定 / 印刷

Windows 2000/XP では以下の手順に従ってカスタム用紙サイズを設定することにより、カスタム用紙サイズで印刷することができます。

Windows 2000/XP プリンタドライバでカスタム用紙サイズを定義するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」(Windows 2000) / 「プリンタと FAX」(Windows XP) を選択します。
2. Fiery Spark PRO 用アイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
3. 「用紙 / 品質」タブで「詳細設定」をクリックします。
4. 「用紙サイズ：PostScript カスタムページサイズ」を選択します。

5. 「PostScript カスタムページサイズの定義」ダイアログボックスで、必要に応じて項目を指定し、「OK」をクリックします。



6. 「詳細オプション」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
7. 「印刷設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Windows 2000/XP プリンタドライバでカスタム用紙サイズを変更するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」(Windows 2000) / 「プリンタと FAX」(Windows XP) を選択します。
2. Fiery Spark PRO 用アイコンを右クリックし「印刷設定」を選択します。
3. 「用紙 / 品質」タブで「詳細設定」をクリックします。
4. 「用紙 / 出力：用紙サイズ」横の「カスタムページサイズの編集」ボタンをクリックします。
5. 「PostScript カスタムページサイズの定義」ダイアログボックスで、必要に応じて設定を変更し、「OK」をクリックします。

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント (印刷)」を選択します。
2. プリンタを選択し「プロパティ」をクリックします。
3. 「用紙 / 品質」タブの「給紙方法」で「用紙トレイ」を選択します。
4. 「詳細設定」をクリックします。
5. 「用紙 / 出力：用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。

6. 「OK」をクリックします。
7. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリック後、「印刷（プリント）」ダイアログボックスで「OK（印刷）」をクリックして印刷を開始します。

外部で印刷する時のファイルの保存

印刷データ作成環境に Fiery Spark PRO が設置されておらず、印刷サービス店（サービスビューロ）か外部での印刷をするためにファイルを外に持ち出す必要がある場合は、最終ファイルを「FILE」ポートに印刷します。Fiery Downloader でダウンロードするファイルを作成する時もこの「FILE」ポートに印刷します。「FILE」ポートへの印刷方法は、使用している Windows の取扱説明書を参照してください。

第 2 章： Mac OS からの印刷

本章では Mac OS から Fiery Spark PRO を使って印刷する方法を説明します。Mac OS アプリケーションからアップルメニューの「セレクト」で Fiery Spark PRO を選択することにより、簡単に Fiery Spark PRO にファイルを印刷できます。

Mac OS から印刷する別の方法として、Fiery Downloader を使ってダウンロード印刷する方法、Hot Folders を使って印刷する方法があります。

印刷の方法は以下を参照してください。

- Fiery Downloader を使用したダウンロード印刷 「第 4 章: ファイルとフォントのダウンロード」
- EFI Hot Folder の詳細 「第 6 章: EFI Hot Folder の使用方法」

Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) でのアプリケーションからの印刷

アプリケーションから Fiery Spark PRO に印刷する際は、まず「セレクト」で Fiery Spark PRO を選択します。Fiery Spark PRO ユーザソフトウェア提供の Adobe PostScript プリンタドライバと Fiery Spark PRO プリンタ記述 (PPD) ファイルを使用すると、「プリント (印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark PRO の印刷機能を設定変更できます。

アプリケーションから最良のカラー印刷結果を得る方法に関しては、『カラーガイド』および『Fiery カラーリファレンス』を参照してください。

Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) での印刷設定と印刷

用紙設定用のダイアログボックスとプリントオプション用のダイアログボックスで、Fiery Spark PRO のプリント設定項目を書き換えることができます。詳細は「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

備考：一部のプリントオプションのデフォルト値は、Fiery Spark PRO 「設定」または Fiery ColorWise Pro Tools で設定されます。現在のデフォルト値についてはシステム管理者にお問い合わせください。

Adobe PostScript プリンタドライバでプリントオプションの設定、印刷を行うには：

1. アプリケーションで印刷するファイルを開きます。
2. 「ファイル：用紙設定」を選択します。
3. 用紙設定用のダイアログボックスで、印刷ジョブ用に必要な設定を行います。
「プリンタ」ポップアップメニューには Fiery Spark PRO 「サーバ名 _ プリント接続タイプ」が、その下のポップアップメニューには「ページ属性」が表示されます。
注意：アプリケーションによって、用紙設定用ダイアログボックスの表示内容が異なります。
4. 「用紙」ポップアップメニューで印刷ジョブ用に用紙を選択して、「OK」をクリックします。

アプリケーションによっては用紙設定可能なものがあります。その場合は、アプリケーションでも同じ設定をしてください。

5. アプリケーションで「ファイル：プリント」を選択します。
プリントオプション用ダイアログボックスが現れます。



注意：アプリケーションによって、プリントオプション用ダイアログボックスの表示内容が異なります。

画面上中央のプリンタ名表示用ポップアップメニューには「Fiery Spark_LP8800C_Print...」が表示されます。このメニューを押すと、「セレクト」で設定済みのプリンタがすべて表示され、選択可能です。「セレクト」でプリンタを再選択する必要はありません。

6. 「部数」欄で、印刷部数を指定します。
7. 「ページ」欄で、印刷ページを指定します。
8. 「給紙方法」ポップアップメニューで印刷ジョブに使用するトレイを指定します。

給紙トレイの選択は、現在の印刷ジョブのみに有効です。

注意：トレイ内の用紙サイズ、用紙の種類、または出力方向が印刷ジョブの指定値と異なる場合、エラーメッセージが表示され、ジョブは印刷されません。その場合は正しい用紙をトレイにセットするか、ジョブをキャンセルしてください。

9. 「プリンタ」直下のポップアップメニュー（デフォルト表示は「一般設定」）をクリックし、「ジョブ注釈メモ」で必要な情報を入力します。



- ジョブ注釈メモ

ユーザやジョブに関する情報を入力します。この情報は、Command WorkStationの「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spoolerの「プリント設定の書き換え」、またジョブログに表示されます。システム管理者またはオペレータは、これらの情報を編集または削除できません。

- 指示

ジョブに関するオペレータへの指示を入力します。この指示は、Command WorkStationの「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spoolerの「プリント設定の書き換え」に表示されます。ジョブログには表示されません。システム管理者またはオペレータはこの情報を編集できます。

10. 同ポップアップメニューの「プリンタ固有機能」で、必要な項目を選択します。
プリンタ固有オプションをジョブごとに設定できます。



ここで指定するプリントオプションは Fiery Spark PRO とプリンタに固有のもので
す。ここでの設定は Fiery Spark PRO 「設定」または Fiery ColorWise Pro Tools での設
定を上書きします。プリントオプションの設定は Command WorkStation の「プロパ
ティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイ
アログボックスでも変更できます。

「プリンタの初期設定」を選択すると、印刷ジョブは工場出荷値、Fiery Spark PRO
「設定」、または ColorWise Pro Tools での値に基づいて印刷されます。プリントオプ
ションについての詳細は、「付録 A : プリントオプションの設定」、
Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler などのジョブ管理ツールにつ
いての詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

プリントオプションによっては、「一般設定」欄またはアプリケーションで指定可能
なものがありますが、ここで指定してください。「一般設定」欄またはアプリケー
ションで指定すると適切に印刷できなかつたり、処理に時間がかかることがありま
す。

競合するオプションを選択した場合、警告ダイアログボックスが表示されることが
あります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

11. 変更後の設定をこのコンピュータのデフォルト値として保存する場合は、「設定を保
存」をクリックします。
12. 「プリント」をクリックします。

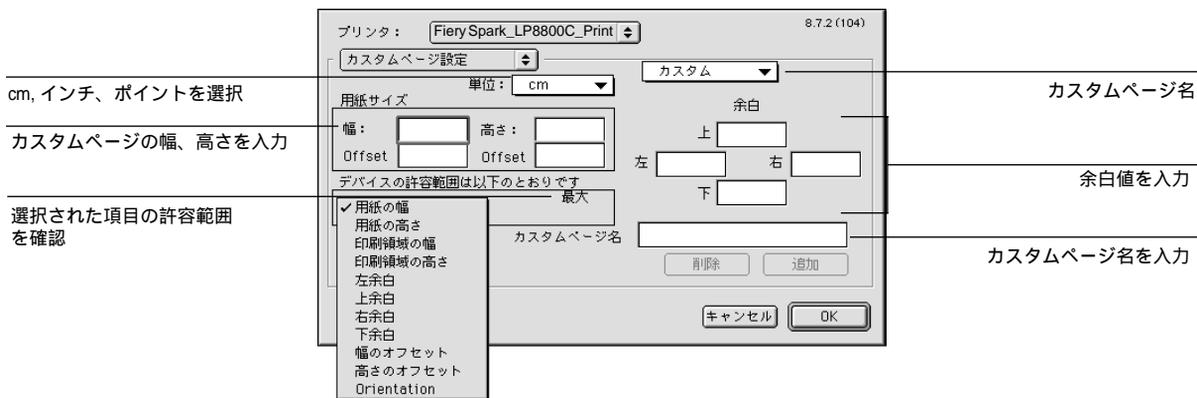
Mac OS 9.x 以前または Mac OS X (Classic) でのカスタムページサイズの設定と印刷

印刷ページのサイズおよび余白を定義することにより、用紙サイズをカスタマイズできます。指定したカスタムページは、印刷時にアプリケーションから容易に選択でき、印刷のたびに定義する必要がありません。

プリンタドライバでカスタムページサイズを定義するには：

1. アプリケーションで印刷するファイルを開きます。
2. 「ファイル：用紙設定」を選択します。
3. 用紙設定用ダイアログボックスの「用紙」プリントオプションで「カスタム」を選択します。
4. 「プリンタ」直下のポップアップメニュー（デフォルト表示は「ページ属性」）をクリックし、「カスタムページ設定」を選択します。

カスタムページ設定用ダイアログボックスが表示されます。



5. 「用紙サイズ」欄でカスタムページのサイズを入力します。

「デバイスの許容範囲」欄で各項目の最大、最小許容範囲が表示されます。ここで表示される許容範囲外の無効値を入力して「OK」をクリックすると警告が表示されません。

6. すべての設定終了後、このカスタムページを保存する場合は「カスタムページ名」欄に名前を入力し、「追加」をクリックします。

保存されたカスタムページ名は用紙ポップアップメニューに現れます。既存のカスタムページサイズを用紙ポップアップメニューから削除する場合は、「削除」をクリックします。

7. 「OK」をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

プリンタドライバでカスタムページサイズを変更するには：

1. アプリケーションで印刷するファイルを開きます。
2. 「ファイル：用紙設定」を選択します。
3. 用紙設定用ダイアログボックスの「用紙」プリントオプションで変更対象のカスタム用紙名を選択します。
4. 「プリンタ」直下のポップアップメニュー（デフォルト表示は「ページ属性」）をクリックし、「カスタムページ設定」を選択します。
5. カスタムページ設定用ダイアログボックスでオプションを設定し、「追加」をクリックします。
6. 新しい設定で置き換えても良いかどうかを問うメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
7. 「OK」をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

カスタムページサイズで印刷するには：

1. アプリケーションで「ファイル：用紙設定」を選択します。
2. 用紙設定用ダイアログボックスの「用紙」でカスタムページを選択します。
3. 「OK」をクリックし、用紙設定用ダイアログボックスを閉じます。
4. 「ファイル：プリント（印刷）」を選択します。
5. 「一般設定」の「給紙方法」で「自動選択」を選択します。
6. 必要に応じてプリントオプションを設定します。

7. 用紙が長辺方向で給紙される場合、「プリンタ」直下のポップアップメニューで「レイアウト」を選択し（デフォルト表示は「一般設定」）、「トランスバース」（横向き）を選択します。
8. 「プリント」をクリックし、印刷を開始します。

Mac OS X (Native) でのアプリケーションからの印刷

Fiery Spark PRO のユーザソフトウェア CD から Fiery Spark PRO の PPD ファイルをインストールすると、Mac OS X 用のアプリケーションから Fiery Spark PRO の印刷機能を設定 / 変更し、Fiery Spark PRO へ印刷することができるようになります。PPD ファイルのインストールについての詳細は、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

アプリケーションから最良のカラー印刷結果を得る方法に関しては、『カラーガイド』および『Fiery カラーリファレンス』を参照してください。

Mac OS X (Native) での印刷設定および印刷

Mac OS X 用のアプリケーションの「ページ設定」と「プリント」ダイアログボックスで、Fiery Spark PRO のプリントオプション項目を書き換えることができます。プリントオプションに関する詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

備考：一部のプリントオプションのデフォルト値は、Fiery Spark PRO 「設定」または Fiery ColorWise Pro Tools で設定されます。現在のデフォルト値についてはシステム管理者に問い合わせてください。

Mac OS X (Native) 用の PostScript プリンタドライバでプリントオプションを設定 / 変更し、印刷するには：

1. アプリケーションで印刷するファイルを開きます。
2. 「ファイル：ページ設定（用紙設定）」を選択します。

3. 「ページ設定」ダイアログボックスの「設定」で「ページ属性」を選択し、「対象プリンタ」で Fiery Spark PRO を選択します。



4. 必要に応じて、印刷ジョブ用に用紙設定オプションを設定し、「OK」をクリックします。
5. 「ファイル：プリント」を選択します。
6. 「プリント」ダイアログボックスの「プリンタ」で Fiery Spark PRO を選択します。



注意：「丁合い」を選択すると印刷できない場合には、チェックマークを外して印刷してください。

7. ポップアップメニューでオプショングループを選択し、必要に応じてオプション項目を設定します。



これらの設定は Command WorkStation、の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更できます。

「プリンタの初期設定」を選択すると、印刷ジョブは工場出荷値、Fiery Spark PRO 「設定」、または ColorWise Pro Tools での値に基づいて印刷されます。

プリントオプションによっては、アプリケーションで指定可能なものがありますが、「プリンタの機能」欄で指定してください。アプリケーションが提供するオプション欄で指定すると、適切に印刷できなかったり、処理に時間がかかることがあります。

8. ポップアップメニュー欄から「ジョブ注釈メモ」を選択し、必要な情報を入力します。

- ジョブ注釈メモ

ユーザやジョブに関する情報を入力します。この情報は、Command WorkStation の「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックス、およびジョブログに表示されます。この欄は、オペレータが編集や削除を行うことはできません。

- 指示

ジョブについてのオペレータへの指示を入力します。この指示は Command WorkStation の「プロパティ」、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスに表示されます。ジョブログには表示されません。システム管理者またはオペレータはこの指示を編集できます。

2

9. 変更後の設定をカスタム設定として保存する場合は「プリセット」で「別名で保存」を選択します。
10. 「プリント」をクリックします。

第 3 章： UNIX からの印刷

UNIX[®] から直接 Fiery Spark PRO への印刷が可能です。Fiery Spark PRO で印刷されるジョブは Fiery Spark PRO 印刷または待機キューに送られ、ネットワーク上の Windows 対応コンピュータまたは Macintosh から Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用して操作することができます。

注意：印刷ジョブを待機キューに送信する場合、そのジョブを印刷するには Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler からオペレータが介入操作する必要があります。待機キューに送られたジョブはディスクにスプールされ、オペレータが介入操作するまでそこに留まります。

Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の詳細については、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

キュー名と Fiery Spark PRO プリンタ名は、システム管理者によって設定されています。使用可能なキュー名に関してはシステム管理者に問い合わせてください。

TCP/IP からの印刷設定に関する情報は、UNIX システムの説明書を参照してください。

Fiery Spark PRO への印刷

UNIX コマンドを使用して、PostScript ファイルおよびテキストファイルを Fiery Spark PRO で印刷することができます。通常、基本的な印刷コマンド (lpr、lpq、lprm) で印刷ジョブを Fiery Spark PRO に送ります。UNIX コマンドに関する情報は UNIX システムの説明書を参照してください。

注意：PostScript、ASCIIテキストファイルのみが、UNIX から Fiery Spark PRO で印刷可能です。

UNIX から印刷するには：

- BSD 版 UNIX システムでは、lpr コマンドを使用して Fiery Spark PRO にジョブを送ります。

```
lpr < -Pprinter> <-#copies> <filename>
```

例) Fiery Spark PRO の印刷キュー Print_Server で、Sample という名前のファイルを 2 部印刷する場合：

```
lpr -PPrint_Server -#2 Sample
```

- Solaris 9 など System V 版 UNIX システムでは、lp コマンドを使用して Fiery Spark PRO にジョブを送ります。

```
lp -d <printername> {-n <-#copies>} <filename>
```

例) Fiery Spark PRO の印刷キュー Print_Server で、Sample という名前のファイルを 2 部印刷する場合：

```
lp -d Print_Server -n 2 Sample
```

キュー内のジョブ一覧を表示するには：

- BSD 版 UNIX システムでは、lpq コマンドを使用してキュー内の印刷ジョブを表示します。

```
lpq <-Pprinter>
```

例) Fiery Spark PRO の印刷キュー Print_Server で、その内容を表示する場合：

```
lpq -PPrint_Server
```

ワークステーションにキューの内容が表示されます。

- Solaris 9 など System V 版 UNIX システムでは、lpstat コマンドを使用して キュー内の印刷ジョブを表示します。

```
lpstat -o <printername>
```

例) Fiery Spark PRO の印刷キュー Print_Server で、その内容を表示する場合：

```
lpstat -o Print_Server
```

ワークステーションにキューの内容が表示されます。

キューからジョブを削除するには：

注意： root ユーザとしてログインしない限り、自分のジョブ以外は削除できません。

- BSD 版 UNIX システムでは、lprm コマンドを使用してキューからジョブを削除します。

```
lprm <-Pprinter> <job#...>
```

lpq コマンドを使用して job# を得ます。

例) job# が 123 のジョブを印刷キュー Print_Server から削除する場合：

```
lprm -PPrint_Server 123
```

このコマンドにより、すべての削除されるファイル名が表示されます。

- Solaris 9 など System V 版 UNIX システムでは、cancel コマンドを使用してキューからジョブを削除します。

```
cancel <printername> <job ID>
```

例) job# が 123 のジョブを印刷キュー Print_Server から削除する場合：

```
cancel Print_Server 123
```


第 4 章： ファイルとフォントのダウンロード

Fiery Downloader を使用するとファイルを作成したアプリケーションを使用することなく Fiery Spark PRO に直接 PostScript、EPS、TIFF、および PDF ファイルを送信して印刷できます。Fiery Downloader を使用して、Fiery Spark PRO 内蔵の欧文プリンタフォントを管理することもできます。

Fiery Downloader を使用するにはネットワーク接続が必要です。サポートされているネットワークプロトコルについては、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

Fiery Downloader

Fiery Downloader は次の機能を提供します。

- Fiery Spark PRO の状況確認
- PostScript、EPS、TIFF (v6.0)、PDF (v1.4) ファイルの Fiery Spark PRO への印刷
注意：接続タイプによるファイル形式のサポートについての詳細は、4-5 頁を参照してください。
- Fiery Spark PRO 内蔵ハードディスク上の欧文 PostScript プリンタフォントの管理（直接接続が有効になっている必要あり）

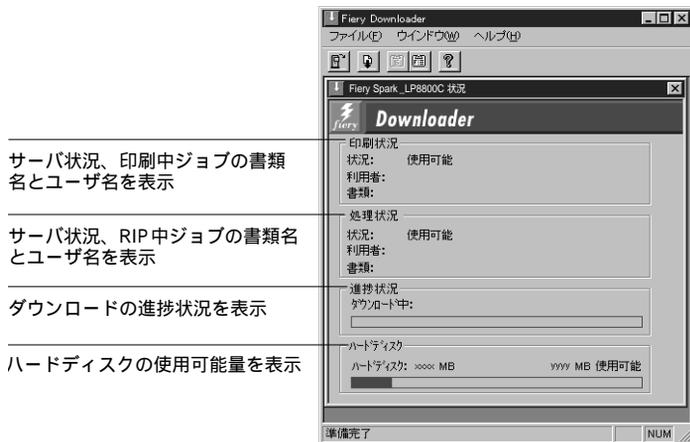
注意：Fiery Downloader は Fiery Spark PRO 専用です。他のプリンタでは使用できません。

注意：Windows 用および Mac OS 用 Fiery Downloader の機能と画面は 基本的には同じものです。ここでは Windows の画面を使用します。

Fiery Downloader で情報を表示するには：

1. Fiery Downloader を起動します。
2. 「セレクト」ダイアログボックスで Fiery Spark PRO を選択し、「OK」(Windows) または「接続」(Mac OS)をクリックします。

Fiery Downloader の「状況」ウィンドウが現れます。その上部にツールバーとメニューが、下部に状況バーが表示されます。



注意：実際の画面では、xxxx 部分にハードディスク容量、yyyy 部分にハードディスク空き容量が表示されます。

ウィンドウ上部のツールバーのアイコンボタンをクリックして、次の機能を実行することができます。

	開く	他の Fiery Spark PRO に接続します。
	ダウンロード	Fiery Spark PRO にファイルまたは欧文フォントをダウンロードします。
	状況ウィンドウの表示	Fiery Spark PRO の状況ウィンドウを表示します。
	フォントリストの表示	Fiery Spark PRO ハードディスク内のプリンタフォント名を一覧表示します。
	ダウンローダについて (Windows のみ)	Fiery Downloader のバージョン情報を表示します。

3. フォント情報を表示するには「フォントリストの表示」ボタンをクリックするか、「ファイル：フォントリスト」を選択してください。
4. 他の Fiery Spark PRO を選択するには、「ファイル：開く」を選択、または「開く」ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで Fiery Spark PRO を選択し、「OK」(Windows)または「接続」(Mac OS)をクリックします。
5. Fiery Spark PRO との接続を解除するには、その Fiery Spark PRO 用「状況」ウィンドウをアクティブにし、「ファイル：閉じる」を選択します。
6. Fiery Downloader を終了するには、「ファイル：終了」を選択します。

Fiery Downloader を使った印刷

Fiery Downloader を使うと、印刷ジョブおよび欧文フォントを Fiery Spark PRO にダウンロードできます。ほとんどのアプリケーションからの印刷と比べ、Fiery Downloader を使ってファイルを印刷するとかなりの高速印刷が可能です。通常、印刷するファイルのサイズが大きき場合には、Fiery Downloader での印刷をおすすめします。ダウンロード印刷するジョブでは、設定できるプリントオプション数が限られます。

Fiery Downloader でファイルまたはフォントをダウンロードするには：

1. アプリケーションを使ってファイルを作成します。

アプリケーションの「プリント(印刷)」ダイアログボックスで、適切なオプションを指定してファイルへ出力することにより、印刷ジョブをPostScriptまたはPDFファイルとして保存できます。アプリケーションによっては、EPS または TIFF ファイルとして保存することもできます。

EPS ファイルを Fiery Downloader で印刷するときに問題が生じた場合は、そのファイルを作ったアプリケーションからファイルを直接印刷してください。

2. Fiery Downloader を起動します。
3. 「ファイル：ダウンロード」を選択するか、または「ダウンロード」ボタンをクリックします。



4. 「ファイルの種類」(Windows) または「表示」(Mac OS) ポップアップメニューでファイル形式を選択します。

ここはデフォルトの「すべてのファイル形式」のままにしておくか、または「すべてのファイル」を選択することができます。「すべてのファイル形式」の場合は Fiery Downloader でサポートされている形式のすべてのファイルが一覧表示されます。「すべてのファイル」ではすべてのファイルが一覧表示されます。

備考：ファイルと欧文フォントを一つのバッチ処理としてダウンロードすることが可能です。同一バッチのファイル内で使用されているフォントをダウンロードする場合はフォントを先にダウンロードします。

5. 「接続タイプ」(Windows)または「キュー」(Mac OS)ポップアップメニューでファイルやフォントのダウンロード先を選択します。

「印刷(キュー)」、「待機(キュー)」、または「直接(接続)」の中から選択が可能です。ネットワーク管理者が使用可能にしていない接続タイプは選択できません。

直接接続でのPDF または TIFF ファイルの印刷はできません。直接接続を選択してPDF または TIFF ファイルをダウンロードした場合、ジョブは印刷キューにスプールされ、その後印刷されます。印刷キューが使用可能になっていない場合、ジョブは待機キューにスプールされます。この場合、ジョブを印刷するにはオペレータの介入が必要です。

注意：フォントをダウンロードするには、直接接続を使用する必要があります。Fiery Spark PRO「設定」で「直接接続」が「はい」になっていることを確認してください。直接接続の使用が不可能で、ダウンロードするファイル内に Fiery Spark PRO 内蔵以外の特別フォントが使用されている場合、そのフォントをダウンロードファイル作成時に含める必要があります。

6. ファイル名を選択し、「ファイルの追加」(Windows)または「追加」(Mac OS)をクリックします。

Windows の場合、「ファイル名」欄に選択されたファイル名が表示されます。

他のドライブやディレクトリに属するファイルをダウンロードする場合は、ダイアログボックスで希望のドライブやディレクトリを選択してください。Mac OS では、「すべてを追加」をクリックすると、フォルダ内のファイルをすべて追加できます。

隣接する複数のファイルを選択するには、最初のファイルを選択し、Shift キーを押しながら最後のファイルをクリックします。隣接しない複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながらファイルをクリックします。

ダウンロードするファイル中からファイルを削除する場合は、「ダウンロードするファイル」の中からそのファイル名を選択して「ファイルの削除」(Windows)または「削除」(Mac OS)をクリックします。

Mac OS では、「すべてを削除」をクリックすると「ダウンロードするファイル」一覧内のファイルをすべて削除できます。

7. ジョブの属性を変更するには、ファイル名を選択し「オプション」をクリックします。

注意：TIFF ファイルでのオプションの変更はできません。

8. ダイアログボックスに次の設定を入力し、「OK」をクリックします。

ここで設定する「オプション」は選択されたファイルにのみ適用されます。各ファイルごとに異なる「オプション」を設定したり、デフォルト設定のままにしておくこともできます。

- 部数

印刷部数を指定します。

- 明るさ (EPS および PostScript ファイルのみ)

ファイルの印刷が暗すぎたり、明るすぎる場合に「明るさ」設定を変更します。画像を非常に明るくしたい場合は 85% を、非常に暗くしたい場合には 115% を、あるいはその中間オプション値を選択してください。

注意：Adobe Photoshop などのアプリケーションでは、トランスファ関数によって画像の濃度を設定できるものがあります。印刷するファイルにトランスファ関数で変更を加えてあれば、Fiery Downloader の「明るさ」オプションを指定しても印刷出力に変化が見られないことがあります。トランスファ関数の詳細については、アプリケーションの使用説明書を参照してください。

- EPS ファイルに `showpage` を追加する (Windows) `showpage` の追加 (Mac OS) (EPS および PostScript ファイルのみ)

注意：ほとんどの場合、このオプションを使用する必要はありません。`showpage` の追加オプションがなければ EPS ファイルを印刷できないという場合に、このオプションを選択してください。これは `showpage` PostScript 言語コマンドを印刷ジョブの最後に付けるオプションです。アプリケーションによっては、EPS ファイルを生成するときに、この必須 PostScript 言語コマンドを省略するものがあります。このようなアプリケーションで EPS ファイルを印刷するときは、`showpage` 追加オプションを選択しなければなりません。不必要なときにこのオプションを選択すると、白紙ページが 1 ページ余分に出てきます。

- ページ指定 (PDF ファイルのみ)

印刷するページ範囲を指定します。

9. 「ダウンロード」をクリックします。

ダウンロードを取消すには、キーボード上で Windows では Esc キーを、Mac OS ではコマンド + ピリオドを押します。

注意：Fiery Downloader から EPS ファイルを印刷できない場合は、アプリケーションから直接印刷してください。

欧文プリンタフォントのダウンロードと管理

Fiery Spark PRO では2書体の和文フォント以外に136書体の欧文フォントが提供されています。提供されているフォントについては「付録 B」を参照してください。さらにPDFファイル印刷時のフォント置換用に2書体の欧文 Adobe Multiple Master フォントが含まれています。

注意：フォントのダウンロード、管理および表示を行うには、Fiery Spark PRO「設定」の「プリンタ設定」で「直接接続」が「はい」になっている必要があります。

ダウンロードするファイル内にFiery Spark PRO内蔵以外の特別フォントが使用されている場合、(ファイルにそのフォントが含まれていない場合は)ファイルをダウンロードする前にそのフォントをダウンロードする必要があります。どのフォントがFiery Spark PRO 内蔵かを見るには「ファイル：フォントリスト」を選択するか、「フォントリストの表示」ボタンをクリックしてフォントリストを表示します(4-3頁参照)。

フォントのダウンロードは、直接接続でのみ可能です。直接接続が使用不可能な場合は、ダウンロードファイル作成時に、ファイル内で使用されている Fiery Spark PRO 内蔵以外のフォントをすべて含める必要があります。

Fiery Spark PRO 内蔵プリンタフォントに対応したスクリーンフォントは、Windows システムに自動的にインストールされません。

注意：Fiery Downloader では、TrueType フォントや和文フォントのようなコンボジットフォントはダウンロードできません。

備考：Windows で True Type フォントを使用している場合、次の手順に従って Adobe Type 1 フォントに置換して印刷できます。

- Windows 98/Me 「プロパティ」ダイアログボックスの「フォント」タブをクリックし、「TrueType フォントをプリンタフォントで代替」を選択します。
- Windows NT 4.0 プリンタの「ドキュメントの既定値」ダイアログボックスの「PostScript」タブをクリックし、「TrueType フォント」で「デバイスフォントと代替」を選択します。
- Windows 2000/XP 「詳細オプション」ダイアログボックスの「TrueType フォント」で「デバイスフォントと代替」を選択します。

プリンタフォントと Mac OS スクリーンフォント

PostScript フォントの場合同様、Fiery Spark PRO に含まれるフォントも 2 種類のフォント形式（プリンタフォントとスクリーンフォント）を提供しています。プリンタフォントは、Fiery Spark PRO のハードディスクに常駐するフォントとしてインストールされます。Fiery Spark PRO 提供のスクリーンフォントは Mac OS 用です。必要なフォントを Mac OS にインストールしてください。インストール方法は、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

Fiery Spark PRO が提供していない Adobe Type 1 フォント（Windows）または PostScript フォント（Mac OS）を使う場合は、フォントメーカからの説明書に従って、スクリーンフォントおよびプリンタフォントをインストールしてください。

Fiery Spark PRO へのプリンタフォントのダウンロード

Mac OS の場合は通常、Fiery Spark PRO にインストールされていない欧文フォントが書類で使用されると、プリンタフォントがシステムフォルダにインストールされている限り、アプリケーションから印刷するたびに、そのフォントはアプリケーションによって自動的にダウンロードされます。これらのフォントが Fiery Spark PRO 上にあるのは書類が印刷されている間だけです。同じ書類を再び印刷する場合、アプリケーションは再びフォントをダウンロードします。

Fiery Spark PRO にインストールされていない欧文フォントで、Mac OS のアプリケーションまたは Windows のアプリケーションから頻繁に使うフォントは、Fiery Downloader を使って Fiery Spark PRO のハードディスクにダウンロードしておく時間を節約できます。Fiery Spark PRO ハードディスクにダウンロードした欧文フォントは、Fiery Downloader を使って削除するまでは、電源のオン・オフを繰り返しても消えません。頻繁に使う欧文フォントは Fiery Spark PRO ハードディスクにダウンロードしておくことを推奨します。

Fiery Downloader で PostScript、TIFF、または EPS ファイルをダウンロード印刷する場合、あらかじめそのファイルで使われているフォントが、すべて Fiery Spark PRO にインストールされているか、もしくはファイルに含まれていることを確認しておいてください。そうでない場合は、該当フォントの文字が正しく印刷されなかったり、書類がまったく印刷されないことがあります。

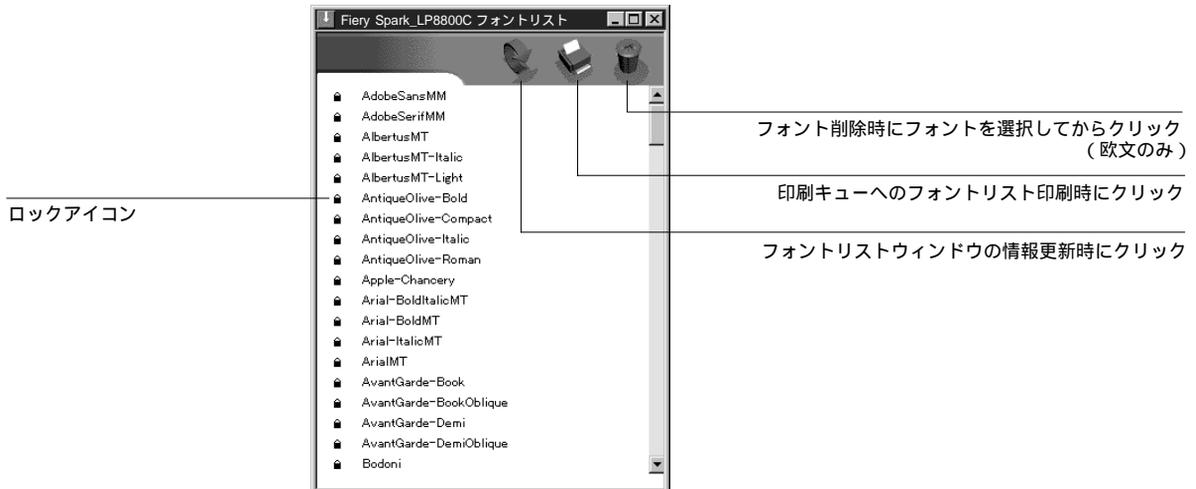
PDF ファイルをダウンロードする場合、Fiery Spark PRO にインストールされていないフォントは自動的にフォント置換が行われます。2 書体の欧文 Adobe Multiple Master フォントが PDF ファイルのフォント置換用に Fiery Spark PRO に内蔵されています。和文 PDF ファイル内の Fiery Spark PRO にインストールされていないフォントは、自動的に平成角ゴシック、平成明朝に置き換わります。

フォント情報を表示、更新、印刷、削除するには：

注意：フォントのダウンロード、管理、およびフォントリストの表示を行うには、Fiery Spark PRO 「設定」の「プリンタ設定」で「直接接続」が「はい」になっていることが必要です。「直接接続」の設定に関しては、『設定管理ガイド』を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

- 「ファイル：フォントリスト」を選択するか、「フォントリストの表示」ボタンをクリックします。

「フォントリスト」ウィンドウが現れ、その中に更新、印刷、削除のアイコンが表示されます。Fiery Spark PRO 提供の内蔵プリンタフォントおよび和文フォントはロックされています。これらのロックされているフォントはフォント名の横にロックアイコンが表示されており、削除することはできません。



第 5 章： 印刷ジョブの管理

Fiery Spark PRO のユーザソフトウェアでは印刷ジョブ管理のためのさまざまなツールが提供されています。それらのツールへのユーザのアクセス権は、システム管理者によって決められます。

- Command WorkStation、Fiery WebSpooler、Fiery Spooler

これらのツールを使用すると Fiery Spark PRO へ送られた印刷ジョブのフローの表示 / 管理が可能です。

管理者が Fiery Spark PRO 「設定」で「システム管理者」パスワードおよび「オペレータ」パスワードを設定している場合、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の機能を使用する際にこれらのどちらかのパスワードが必要です。これらのツールおよびアクセス権についての詳細は『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

- 「状況」WebTool、「WebLink」WebTool、「プリンタモニタ」WebTool

これらのツールは特別なアクセス権を必要としません。Fiery Spark PRO の IP アドレスがユーザに提供されている場合、このツールはどのユーザでも使用できます。

Fiery WebTools

Fiery WebTools は Fiery Spark PRO に内蔵されていますが、ネットワーク上のさまざまなプラットフォームからアクセス可能です。Fiery Spark PRO にはホームページがあり、リモートユーザはそこで Fiery Spark PRO 機能の表示やジョブの操作などができます。本章では「状況」、「WebLink」、および「プリンタモニタ」WebTool について説明します。「WebSpooler」WebTool に関しては『ジョブ管理ガイド』、「インストーラ」WebTool に関しては『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

Fiery WebTools にアクセスするには：

1. Web ブラウザを起動します。
サポートされているプラットフォームおよびブラウザのバージョンについては『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。
2. Fiery Spark PRO サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
この情報についてはシステム管理者またはオペレータに問い合わせてください。
3. 「ログイン」ダイアログボックスが現れたら、「ゲスト」を選択し、「OK」をクリックします。
このダイアログボックスは、システム管理者がパスワードを設定している場合のみ表示されます。「ゲスト」アクセスでも「状況」、「WebLink」、「プリンタモニタ」WebTool を使用できます。
4. Fiery Spark PRO のホームページが現れたら、必要な WebTool をクリックします。
WebTool 名の上にカーソルを動かすとそのツールの情報が表示されます。

「状況」WebTool での Fiery Spark PRO の状況のチェック

「状況」WebTool を使用して Fiery Spark PRO の現在の処理および印刷状況を表示できます。

「状況」WebTool にアクセスするには、Fiery Spark PRO ホームページで「状況」をクリックします。現在の RIP 状況および印刷状況がウィンドウに現れます。



状況表示用に別のウィンドウを開くには、「フロート」をクリックします。Fiery Spark PRO 「状況」フロートウィンドウが現れます。もとのウィンドウを閉じてフロートウィンドウのみをデスクトップに残しておくことができます。このウィンドウ上の Fiery Spark PRO の状況は自動的に更新されます。

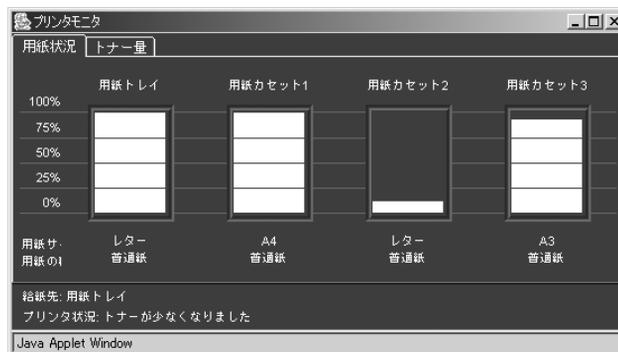
さらに詳しいジョブの状況情報を得るには、Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用してください（『ジョブ管理ガイド』参照）。

「WebLink」WebTool での情報アクセス

Fiery Spark PRO ホームページで「WebLink」をクリックすると、リンクされている Web ページにアクセスできます（有効なインターネット接続が設定されている場合）。リンク先のデフォルトは www.i-love-epson.co.jp に設定されています。リンク先の変更はシステム管理者によって行われます。リンク先変更に関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

「プリンタモニタ」WebTool でのトナー状況確認

「プリンタモニタ」WebTool では用紙およびトナーの使用状況が表示されます。



第 6 章： EFI Hot Folder の使用方法

本章では、EFI Hot Folder の使用方法を説明します。EFI Hot Folder を使用すると、頻繁に使用するプリントオプションのセットを前もって保存し、繰り返し利用することができます。同一のプリントオプション設定を何度も使用する場合は、印刷ジョブを送信する際にプリントオプションを設定する手間が省けるため、時間を節約できます。

注意：Windows 用および Mac OS 用 EFI Hot Folder の機能と画面は 基本的には同じものです。ここでは Windows の画面を使用します。

EFI Hot Folder の概要

各 Hot Folder 用にプリントオプションを設定することができます。EFI Hot Folder を使うと、印刷するファイルを Hot Folder にドラッグ&ドロップするだけで印刷できます。EFI Hot Folder アプリケーションは、その Hot Folder に設定されているプリントオプションを印刷ジョブに適用し、指定キューに送信します。

コンピュータ上で作成できる Hot Folder の数に制限はありません。また、ショートカットを作成することにより他のユーザとネットワーク上で共有することもできます。

EFI Hot Folder を使用するには、まず Hot Folder を指定し、プリントオプションおよび使用キューを指定します（6-3 頁参照）。あとは、印刷する文書を Hot Folder にドラッグ&ドロップするだけです。また、Hot Folder にアプリケーションから印刷することもできます。Hot Folder の管理、および Hot Folder に送信されたジョブの状況監視は、EFI Hot Folder コントロールパネルで行います（6-2 頁参照）。

ファイル形式の制限

EFI Hot Folder アプリケーションでは、PostScript および PDF ファイルの印刷が可能です。ただし、プリンタのデフォルトオプションと異なるプリントオプションを設定した場合、またはデフォルトオプションを書き換えるプリントオプションを設定した場合、サポートできるファイル形式が制限されることがあります。

ファイル形式	プリントオプション書き換え
PostScript	完全サポート
PDF	部分的サポート

Hot Folder にプリンタのデフォルトオプションを設定した場合、Fiery Spark PRO では PostScript および PDF ジョブを完全サポートします。

プリントオプションの設定に関する情報は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

注意：EFI HotFolder を使用してジョブを Fiery Spark PRO へ送信する場合は、ファイルに拡張子が付いているかどうかを確認してから送信してください。

EFI Hot Folder コントロールパネルの使用方法

EFI Hot Folder アプリケーションは、コンピュータ起動時に自動的に起動し、コンピュータ上の Hot Folder に新しい印刷ジョブがあるかどうかを常に監視します。この監視は、バックグラウンドで常時行われます。

EFI Hot Folder コントロールパネルでは、Hot Folder の作成および管理、そして Hot Folder にドラッグ&ドロップされたジョブの状況監視ができます。



EFI Hot Folder コントロールパネルには、コンピュータ上の各 Hot Folder の名前、Fiery Spark PRO のサーバ名、および Hot Folder へのパスが表示されます。

EFI Hot Folder コントロールパネルを表示するには：

1. Windows タスクバーに EFI Hot Folder アイコンが表示されていない場合は、Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム : Fiery : HotFolder」を選択します。
2. デスクトップに Hot Folder 用ショートカットがある場合は、ショートカットをダブルクリックするか、右クリックし「開く」を選択して表示することもできます。



Hot Folder ショートカット

3. Windows タスクバーに EFI Hot Folder アイコンが表示されている場合は、上記の方法のほかに、アイコンをダブルクリックするか、または 1 回クリックし「コントロールパネルを開く」を選択すると、コントロールパネルが表示されます。

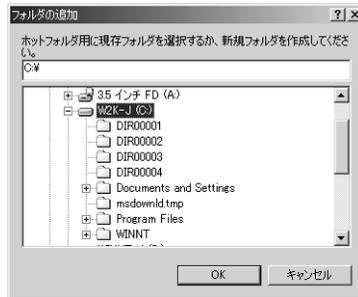
Hot Folder の作成および除去

Hot Folder を作成すると、Hot Folder およびその中の印刷ジョブに関するファイルやサブフォルダは、そのコンピュータのハードディスクに保存されます。

注意： Mac OS 用 Hot Folder を使用する場合は、Hot Folder からフォルダを新規作成できないため、フォルダをあらかじめ作成しておく必要があります。

新しい Hot Folder を追加および Fiery Spark PRO へ接続するには：

1. EFI Hot Folder コントロールパネルで「追加」をクリックします。
「フォルダの追加」ダイアログボックスが表示されます。



2. 「フォルダの追加」ダイアログボックスで既存のフォルダを選択するか、または新しいフォルダを作成する場所を選択し、パスが表示されている欄にフォルダ名を入力します。

たとえば、C:\nihonbashi フォルダに「basic」フォルダを作成する場合、C: ドライブ内の「nihonbashi」をクリックし「C:\nihonbashi」の後に「\basic」を入力します。

3. 「OK」をクリックします。
4. 「フォルダを作成しますか？」で「はい」をクリックします。
「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



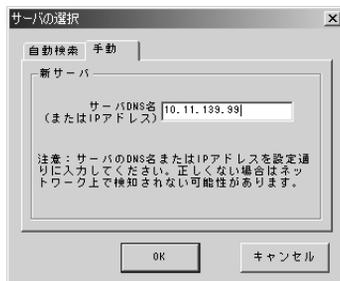
Hot Folder として以下のフォルダを使用することはできません。

- コンピュータのシステムフォルダ
- コンピュータのデスクトップフォルダ

- ルートディレクトリ内のフォルダ
 - 共有ファイルサーバなどのネットワークサーバ上のフォルダ（ネットワークサーバに EFI Hot Folder がインストールされ起動される場合を除く）
5. 「サーバ」欄で「選択」をクリックします。
 6. ローカルサブネットから Fiery Spark PRO を追加するには、「自動検索」タブの「使用可能サーバ」欄でサーバを選択し「OK」をクリックします。
「使用可能サーバ」欄には Hot Folder をサポートするプリントサーバのみが表示されます。



7. 手動で Fiery Spark PRO の接続設定をするには、「手動」タブをクリックし「サーバDNS名」欄に IP アドレスまたは DNS 名を入力して「OK」をクリックします。



8. 「ロジカルプリンタ」欄でプリント接続名を選択します。
9. 「プリントオプション設定」のチェックボックスをクリックし、オプションを設定します。
プリントオプション設定の詳細は、6-8 頁を参照してください。

10. 「OK」をクリックします。

これで、新しい Hot Folder の準備ができました。フォルダ名がコントロールパネルに表示されます。

以下の手順に従って Hot Folder を除去します。

Hot Folder を除去するには：

1. EFI Hot Folder コントロールパネルで除去するフォルダを選択します。
フォルダのパスをメモに記してください。
2. フォルダが使用中の場合は、「使用しない」をクリックします。
除去する前に、フォルダを使用停止する必要があります。
3. 「除去」をクリックします。
4. 「フォルダを除去しますか？」で「はい」をクリックします。
コントロールパネルからフォルダが除去されます。
5. コンピュータ上で Hot Folder を開き、フォルダ内に保存する必要があるファイルがないことを確認します。
サブフォルダを使用してアーカイブジョブを保存する方法に関しては、6-8 頁の「Hot Folder のカスタム設定」を参照してください。
6. フォルダをデスクトップ上の「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップするか、右クリックし「削除」を選択します。

Hot Folder を使用可能 / 停止する方法

デフォルト設定では、EFI Hot Folder アプリケーションはコンピュータ上の Hot Folder に新しい印刷ジョブがあるか絶えず監視します。必要のない Hot Folder はその使用を停止し、EFI Hot Folder アプリケーションが監視しないように設定することができます。使用停止中のフォルダに印刷ジョブをドラッグ&ドロップしても、フォルダが使用可能になるまでジョブは処理されません。

Hot Folder を使用可能または停止するには：

- EFI Hot Folder コントロールパネルで Hot Folder を選択し、「使用する」または「使用しない」をクリックします。
- または、デスクトップで Hot Folder を右クリックし、「EFI HotFolder：使用する」または「EFI HotFolder：使用しない」を選択します。
- または、デスクトップで Hot Folder を右クリックして「プロパティ」を選択し、「EFI HotFolder」タブをクリックして「EFI HotFolder を使用する」または「EFI HotFolder を使用しない」を選択します。

コントロールパネルの「状況」欄では、使用可能なフォルダは緑で、使用停止されているフォルダは赤で表示されます。

Hot Folder の環境設定

以下の手順に従って EFI Hot Folder の環境設定を設定します。

EFI Hot Folder の環境を設定するには：

1. EFI Hot Folder コントロールパネルで「環境設定」をクリックします。



2. 「一般：単位」でデフォルト単位を設定します。
3. ジョブの処理中に EFI Hot Folder アプリケーションが作成する一時ファイルを保存するフォルダを指定するには、「一般：一時パス」で「参照」をクリックし、「フォルダの参照」ダイアログボックスでフォルダを選択して「OK」をクリックします。「一時パス」を設定しない場合には、EFI Hot Folder アプリケーションはコンピュータのシステム「Temp」フォルダを使用します。
4. 「環境設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Hot Folder のプロパティ設定

「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスで、各 Hot Folder のプロパティを設定できます。設定内容には、プリントオプション、Fiery Spark PRO の場所、プリンタ接続名などがあります。

「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスを表示するには、以下の方法があります。

- EFI Hot Folder コントロールパネルで新しい Hot Folder を作成します(6-4 頁参照)
- EFI Hot Folder コントロールパネルでフォルダを選択し、「プロパティ」をクリックします。



Hot Folder のカスタム設定

新しく作成した Hot Folder の中には、以下のサブフォルダが作成されます。

FailFolder - プリンタの不具合などが原因で印刷処理できないジョブがこのフォルダに保存されます。

MoveFolder - 印刷処理されたジョブのアーカイブコピーがこのフォルダに保存されます。

WorkFolder - 印刷ジョブが処理されている最中に EFI Hot Folder アプリケーションが使用するプライベートフォルダです。

印刷ジョブのアーカイブコピーを FailFolder および MoveFolder に保存することもできます。また、アーカイブコピーを他のフォルダに保存することもできます。

注意：カスタム設定の機能は、Mac OS では使用できません。

Hot Folder への印刷ジョブをアーカイブするには：

1. 「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスで「詳細」をクリックします。



2. 印刷処理できないジョブを他のフォルダに保存するには、「失敗フォルダ」欄で「参照」をクリックし、「フォルダの参照」ダイアログボックスでフォルダを選択して「OK」をクリックします。
3. 印刷処理されたジョブをデフォルトの MoveFolder にアーカイブするには、「オリジナルを保存」を選択します。他のフォルダにアーカイブするには、「オリジナルを保存」欄で「参照」をクリックし、「フォルダの参照」ダイアログボックスでフォルダを選択して「OK」をクリックします。

注意：「オリジナルを保存」を選択しない場合は、Hot Folder にドラッグ&ドロップされたジョブは印刷後にフォルダから削除されます。

備考：アーカイブされたジョブのジョブ名には、他のジョブと識別するための数字（処理日時と連番）が自動的に追加されます。

4. 「フォルダ設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Hot Folder のプリントオプションを設定

アプリケーションからの印刷の場合、各ジョブに対しプリントオプションを設定しますが、Hot Folder の場合、各 Hot Folder に対しプリントオプションを設定し、ドラッグ&ドロップするジョブに Hot Folder 用に設定されたプリントオプションが適用されます。Fiery Spark PRO「設定」および ColorWise Pro Tools での設定値は、Hot Folder のプリントオプションにより書き換えられます。

プリントオプションの詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

注意：「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスの「ロジカルプリンタ」で直接接続を選択する場合、プリントオプションの設定はできません。

Hot Folder にプリントオプションを設定するには：

1. 「フォルダのプロパティ」ダイアログボックスで「プリントオプション設定」を選択します。
「プリントオプション設定」ダイアログボックスが表示されます。表示されない場合は、「プリントオプション設定」横の「定義」ボタンをクリックしてください。
2. 各プリントオプションの右欄をクリックすると、選択肢が表示されます。選択肢から項目を選択します。
右欄が空欄のプリントオプションでは、右欄をクリックし情報を入力してください。
注意：印刷部数の値に「1」を入力すると、もともとの PostScript ファイルの部数が優先され、「2」以上の値の場合は Hot Folder の設定が優先されます。
3. 「OK」をクリックし「プリントオプション設定」ダイアログボックスを閉じます。

Hot Folder ジョブログの表示

EFI Hot Folder アプリケーションでは、Hot Folder で処理したジョブのログを表示できます。

Hot Folder のジョブログを表示するには：

1. Hot Folder コントロールパネルで、フォルダを選択します。
2. 「ログを表示」をクリックします。
「フォルダログ」ダイアログボックスに以下の情報が表示されます。
処理日時 - Hot Folder によって処理された日時
ファイル名 - ドラッグ&ドロップしたファイルの名前
サーバ - Fiery Spark PRO の IP アドレスまたは DNS 名
状況 - 印刷状況または結果
3. ジョブログを更新する場合は、「リフレッシュ」をクリックします。
新しいジョブが処理された場合ログに記録されますが、ジョブログの表示は自動的に更新されません。
4. ジョブログをすべて消去する場合は、「すべて消去」をクリックします。

付録 A： プリントオプションの設定

プリントオプションを指定することにより、ユーザは Fiery Spark PRO 提供のすべての機能を利用できます。プリントオプションは Fiery Spark PRO 「設定」、アプリケーション、Fiery Downloader、Fiery ColorWise Pro Tools、Command WorkStation、および Fiery WebSpooler / Fiery Spooler で設定できます。ここではプリントオプションの内容、デフォルト設定、制限 / 必要条件を説明します。

プリントオプションの設定場所

- Fiery Spark PRO 「設定」での設定

プリントオプション初期設定値の一部は、システム管理者により Fiery Spark PRO 「設定」時に設定されます。現在の Fiery Spark PRO のデフォルト設定については、設定情報ページ（Command WorkStation から印刷）を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

- Fiery ColorWise Pro Tools での設定

Fiery ColorWise Pro Tools を使用すると ColorWise カラーオプションのデフォルト値を設定できます。Fiery ColorWise Pro Tools の詳細については、『カラーガイド』を参照してください。

- アプリケーションでの設定

Fiery Spark PRO ユーザソフトウェア CD を使用して、PostScript プリンタドライバ（Fiery Spark PRO ユーザソフトウェア提供）をインストールすると、ジョブの印刷時にプリントオプションの書き換えができます。アプリケーションからプリントオプションを設定する方法については「第 1 章：Windows からの印刷」および「第 2 章：Mac OS からの印刷」を参照してください。

- Fiery Downloader での設定

Fiery Downloader を使用してジョブを印刷する場合、「ページ指定」(PDF ファイルのみ)、「部数」および「明るさ」(EPS または PostScript ファイルのみ)が設定できます。これらのオプションを設定するには、「ダウンロードするファイル」一覧の中でジョブを選択し「オプション」をクリックします。詳細は「第4章: ファイルとフォントのダウンロード」を参照してください。

- Command WorkStation、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler での設定

Command WorkStation でジョブのプリントオプションを変更するには、ジョブを選択し「ジョブ: プロパティ」を選択するか、ジョブをダブルクリックして「プロパティ」ダイアログボックスを表示します。Fiery WebSpooler / Fiery Spooler でプリントオプションを変更するには、「編集: プリント設定の書き換え」を選択するか、ジョブを選択しダブルクリックして、「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスを表示します。詳細は『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

プリントオプション書き換えの優先順位

Fiery Spark PRO 「設定」と Fiery ColorWise Pro Tools での設定値は、ユーザがアプリケーション または Fiery Downloader で設定したプリントオプションにより書き換えられます。その設定は Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler で書き換えられます。

プリントオプションの詳細

次表の選択項目の下線は PPD のデフォルト設定を表します。「プリンタの初期設定」がデフォルト設定で、かつ Fiery Spark PRO 「設定」または ColorWise Pro Tools でプリンタの初期設定値を設定しないプリントオプションに関しては、「プリンタの初期設定」右側括弧内にそのデフォルト値を表記します。

Fiery Spark PRO 「設定」でデフォルト値を設定したオプションで「プリンタの初期設定」を選択すると、Fiery Spark PRO は設定されたデフォルト値でジョブを印刷します。Fiery Spark PRO 「設定」でデフォルト値を設定できないオプションで「プリンタの初期設定」を選択すると、Fiery Spark PRO は工場出荷時のデフォルト値でジョブを印刷します。詳細は次表の「制限 / 必要条件」を参照してください。



現在選択されているデフォルト値を確認するには、または Command WorkStation から設定情報ページを印刷してください。

チェックボックスを選択する形式のオプションでは、チェックボックスを選択すると「オン」または「はい」、選択しないと「オフ」または「いいえ」扱いになります。

プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
部数	1-999	印刷ジョブの部数を指定します。	
用紙サイズ	A3W (ノビ) / A3 / A4 / A5 / B4 / B5 / レター / HLT / リーガル / Executive / GLG / GLT / F4 / ハガキ / カスタム / Ledger	印刷に使用する用紙サイズを指定します。	Fiery Spark PRO「設定」の「PS 設定 : デフォルト用紙サイズ」での設定値によりデフォルトが決まります。 「日本式」の場合は「A4」、「アメリカ式」の場合は「レター」になります。 このオプションで「A3W(ノビ)」を選択するには、「給紙トレイ」で「自動用紙選択」、「用紙トレイ」、「カセット1」を選択する必要があります。 「A5」、「HLT」を選択するには、「給紙トレイ」で「自動用紙選択」、「排紙」で「フェイスアップトレイ」を選択する必要があります。 「GLG」、「GLT」、「Executive」を選択するには、「給紙トレイ」で「自動用紙選択」または「用紙トレイ」を選択する必要があります。 A3 サイズの印刷にはメモリの増設が必要です。 サポートされている用紙サイズの詳細はプリンタの取扱説明書を参照してください。



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
給紙トレイ (Windows) 給紙方法 (Mac OS)	自動選択 (MacOSのみ) / 自動用紙選択 / 用紙トレイ / 用紙カセット 1 / 用紙カセット 2 / 用紙カセット 3	印刷する用紙の入った給紙トレイを指定します。 「自動用紙選択」または「自動選択」を選択すると、ユーザが指定した用紙サイズが格納されているトレイから自動的に給紙されます。	用紙サイズによっては用紙カセットを使用できません。詳細はプリンタの取扱説明書を参照してください。
用紙の種類	プリンタの初期設定 / 普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色付き / OHPシート / ラベル / 厚紙 / 厚紙 (裏面) / 特厚紙 / 特厚紙 (裏面) / コート紙光沢 / コート紙光沢 (裏面) / 指定しない	使用する用紙の種類を指定します。	このオプションで「OHPシート」、「厚紙」、「ハガキ」を選択するには、「排紙」で「フェイスアップトレイ」を選択する必要があります。



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
両面	<u>オフ</u> / 短辺綴じ / 長辺綴じ	両面印刷をするかどうか、また両面印刷をする場合の排紙方向を指定します。	このオプションで「オフ」以外を選択するには「用紙サイズ」で「A3W (ノビ)」、「A5」、「HLT」以外を、「用紙の種類」で「OHPシート」、「厚紙」以外を選択する必要があります。 このオプションが「オフ」以外に設定されている場合に、「印刷の一時停止」を選択すると、「印刷の再開」を選択しても印刷は再開されません。この場合は、ジョブを再送信してください。 このオプションを使用するには、プリンタに両面印刷ユニットを装着する必要があります。 (A-14 頁参照)
排紙	<u>フェイスアップトレイ</u> / <u>フェイスダウントレイ</u>	「フェイスアップトレイ」を選択すると印刷面が上向きに排紙され、「フェイスダウントレイ」を選択すると下向きに排紙されます。	このオプションで「フェイスダウントレイ」を選択するには、「用紙のサイズ」で「A5」、「HLT」以外を、「用紙の種類」で「OHPシート」、「厚紙」以外を選択する必要があります。 詳細は、プリンタの取扱説明書を参照してください。
解像度	<u>プリンタの初期設定</u> / 300 dpi / 600 dpi	解像度を指定します。	なし
スクリーン	<u>プリンタの初期設定</u> / 解像度優先 / 階調優先	文字やラインアートをくっきり出力したい場合は「解像度優先」を、写真などの連続調画像を正確な色で出力したい場合は「階調優先」を選択します。	なし



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
明るさ	<u>プリンタの初期設定</u> / 85% 非常に明るい / 90% より明るい / 95% 明るい / 100% 標準 / 105% 暗い / 110% より暗い / 115% 非常に暗い	非常に明るくしたい画像には「85%」を、非常に暗くしたい画像には「115%」を、またそれ以外の場合はその間の値を選択します。	
拡大縮小 (Windows) 倍率 (Mac OS)	<u>100%</u> (25% ~ 400%)	印刷時の拡大縮小率を指定します。	
印刷の向き (Windows) 方向 (Mac OS)	<u>横</u> / <u>縦</u>	ジョブの印刷方向を指定します。	
ミラー	はい / <u>いいえ</u>	印刷ジョブの画像を左右に反転します。	
レイアウト	<u>1 up</u> / 2 up / 4 up / 6 up / 9 up / 16 up	複数ページのジョブを印刷する場合、用紙の片面にまとめて印刷するページを指定します。 複数のページをまとめて1ページに印刷する場合は、2up 以上を選択します。 1ページごとに印刷する場合は、1 up を選択します。	



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
印刷モード (Windows) カラーモード (Mac OS)	<u>標準カラー</u> / エキスパートカラー / グレースケール または <u>プリンタの初期設定</u> / カラー / グレースケール	印刷ジョブのカラーモードを指定します。 カラー書類には「標準カラー」または「エキスパートカラー」、または「CMYK」を、グレースケールまたは白黒の書類には「グレースケール」を選択します。	Windows では、ColorWise 用プリントオプションを設定するには、ここで「エキスパートカラー」を選択します。 「標準カラー」を選択した場合は、Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定」または ColorWise Pro Tools での設定値が適用されます。
RGB ソース プロファイル	<u>プリンタの初期設定</u> / EFIRGB / sRGB (PC) / Apple 標準 / カスタム / ソース -1 ~ ソース -10 / なし	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト) 印刷時に適用される RGB ソース色空間を選択します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定 : RGB ソースプロファイル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」が選択されている必要があります。 「ソース -1」~ 「ソース -10」を選択する場合は、対応するソースプロファイルが Fiery Spark PRO に保存されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
ガンマ	<u>プリンタの初期設定</u> / 1.0 / 1.2 / 1.4 / 1.6 / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / 2.6 / 2.8 / 3.0	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト) 印刷時の、RGB ソース色空間のガンマ値を指定します。	このプリントオプションを使用するには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」が選択されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)
白色点	<u>プリンタの初期設定</u> / 5000K (D50) / 5500K / 6500K (D65) / 7500K / 9300K	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト) 印刷時のRGB ソース色空間の白色点 (色温度) を指定します。	このプリントオプションを使用するには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」が選択されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)
RGB 色度座標	<u>プリンタの初期設定</u> / 日立 EBU / 日立・池上 / NTSC / Radius Pivot / SMPTE / ソニートリニトロン	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト) 印刷時のモニタのRGB 色度座標を指定します。	このプリントオプションを使用するには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」が選択されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
カラーの表現	<u>プリンタの初期設定</u> / 連続調 / ビジネスグラフィック / 相対カラーメトリック / 絶対カラーメトリック	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト) の印刷時に使用する「カラーの表現」を指定します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定 : カラーの表現」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」が選択されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)
RGB 色分解	<u>プリンタの初期設定</u> / 出力 / シミュレーション	CMYK 色空間での、RGB データの色分解を指定します。 オリジナルのRGBデータをプリンタ用CMYK色空間で色分解する場合は「出力」を、オフセット印刷などシミュレーション用CMYK色空間で色分解する場合は「シミュレーション」を選択します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定 : RGB 色分解」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 (『カラーガイド』参照)



プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
CMYKシミュレーション プロファイル	プリンタの初期設定 / SWOP-Coated / DIC / Euroscale / TOYO-Coated / Japan Color / シミュレーション -1 ~ シミュレーション -10 / 複写機の最良値 / なし	印刷ジョブ用のシミュレーションプロファイルを指定します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定 : CMYK シミュレーションプロファイル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 このオプションはCMYKデータのみに影響します。 「シミュレーション -1」~「シミュレーション -10」を選択する場合は、対応するシミュレーションプロファイルが Fiery Spark PRO に保存されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
CMYK シミュレーション方法	プリンタの初期設定 / クイック / フル (ソース GCR) / フル (出力 GCR)	シミュレーションの質を指定します。 「クイック」シミュレーションでは、1種類のトランスファー曲線を使用して、出力濃度のみを調整します。 「フル (ソース GCR)」シミュレーションでは、出力濃度に加えて色合いも調整し、ソースドキュメントで指定されたブラックの量で印刷します。 「フル (出力 GCR)」シミュレーションでは出力濃度に加えて色合いも調整し、出力プロファイルで指定されたブラックの量で印刷します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定:CMYKシミュレーション方法」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 「CMYK シミュレーションプロファイル」で「複写機の最良値」または「なし」を選択している場合は、CMYKシミュレーション方法を選択することはできません。 (『カラーガイド』参照)
用紙シミュレーション	オフ / オン	用紙の色に合わせて、CMYK 色空間を調整するかどうかを指定します。	(『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
スポットカラーマッチング	<u>プリンタの初期設定</u> / オフ / オン	スポットカラーマッチングを使用するかどうかを指定します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定：スポットカラーマッチング」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 このオプションはコンポジット印刷でのみ使用できます。分版印刷では使用できません。 (『カラーガイド』参照)
テキストと画像に純ブラック使用	<u>プリンタの初期設定</u> / オフ / オン	「オン」を選択するとブラックのテキストとグラフィックはブラックのトナーのみを使用して出力されます。 「オフ」を選択するとブラックのテキストとグラフィックはCMYK 4色のブラックで出力されます。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定：テキストと画像に純ブラック使用」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 このオプションはコンポジット印刷でのみ使用できます。分版印刷では使用できません。 (『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
出力プロファイル	<u>プリンタの初期設定</u> / 出力 -1 ~ 出力 -10	印刷ジョブの RGB - CMYK 変換に使用する CMYK 色空間用プロファイルを選択します。	Fiery Spark PRO 「設定」の「カラー設定：出力プロファイル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 Windows の場合、このオプションを選択するには、「印刷モード」で「エキスパートカラー」を選択する必要があります。 「出力 -1」～「出力 -10」を選択する場合は、対応するシミュレーションプロファイルが Fiery Spark PRO に保存されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)
色分解の組合せ	<u>プリンタの初期設定</u> / オン / オフ	DTP アプリケーションで、色分解の印刷時にすべての色の組み合わせを 1 ページ上に印刷する場合に「オン」を選択します。 各色ごとに 1 枚ずつグレースケールで印刷する場合は「オフ」を選択します。	(『カラーガイド』参照)
ジョブ注釈メモ 1、2 指示		「ジョブ注釈メモ 1」「ジョブ注釈メモ 2」はジョブ固有の情報を入力します。 「指示」はオペレータへの指示を入力します。	「ジョブ注釈メモ」は最長半角で 31 文字、「指示」は最長半角で 127 文字まで入力可能です。

プリントオプション補足情報

以下ではプリントオプションに関する補足情報を記載します。設定の制限、必要条件については前記の表を参照してください。

拡大、縮小

このオプションでの書き換えは、印刷ジョブに指定されている拡大縮小率に対して適用されます。たとえば、ユーザが「拡大、縮小」(Mac OS では「倍率」)オプションで「50%」を指定している場合、このオプションで「200%」を選択するとオリジナルの書類サイズの100%で印刷されます。

色分解の組み合わせ

このオプションは QuarkXPress、Adobe PageMaker などで作成した色分解データを組み合わせるかどうかを指定し、色分解フィルムを使ったプレス印刷をシミュレートします。この機能により、色分解フィルムを作成する前に、オーバープリント、トラッピング、その他4色刷りの効果を確認してから校正することができます。またこの設定を使用すると、低解像度のマスターファイルを印刷する代わりに、デスクトップカラ - セパレーション (DCS) 形式ファイルを組み合わせたフル解像度の印刷が可能になります。Fiery Spark PRO で最良のカラ - 出力を得るには、印刷画像に適した「カラ - の表現」を選択します。

両面印刷

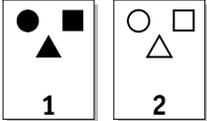
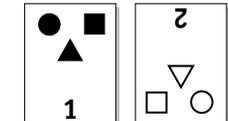
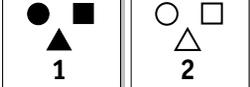
この機能は、普通紙に印刷する場合のみ使用できます。

注意：Fiery Spark PRO は、異なる用紙サイズを含んだファイルを印刷する場合、両面印刷が選択されていても片面印刷で出力します。

両面印刷するには：

1. アプリケーションの「両面」オプションで、以下の項目のいずれかを選択します。
注意：アプリケーションにより、「両面」プリントオプションの場所は異なります。
 - 長辺綴じ 用紙方向が縦の場合は表と裏で上下の方向が一致し、横の場合は上下の方向が逆になります。

- 短辺綴じ 用紙方向が縦の場合は表と裏で上下の方向が逆になり、横の場合は表と裏で上下の方向が一致します。

画像方向	長辺綴じ	短辺綴じ
縦		
横		

2. その他のプリントオプションを設定し「OK」をクリックします。
3. 「プリント(印刷)」をクリックします。

付録 B : Fiery Spark PRO 提供フォント

ここでは Fiery Spark PRO 提供の内蔵プリンタフォント名の一覧を表記します。これらのフォントの他に欧文 PDF ファイル用置換フォントとして、2 書体の Adobe Multiple Master フォントが提供されています。和文 PDF ファイル用置換フォントとして平成角ゴシックおよび平成明朝が適用されます。

注意： Mac OS の場合、ユーザソフトウェア CD からプリンタフォントに対応したスクリーンフォントをインストールしてください。インストール方法については『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

和文フォント

Fiery Spark PRO には 2 書体の平成和文フォントが提供されています。

- 平成角ゴシック (HeiseiKakugo W5)
- 平成明朝 (HeiseiMin W3)

欧文フォント

Adobe Type 1 フォント

Fiery Spark PRO には 126 書体の Adobe Type1 フォントが含まれています。

Mac OS メニュー名は Mac OS のフォントメニューに表示されるフォント名です。例えば、ほとんどのアプリケーションで「Bodoni-Bold」を使用する場合、フォントメニューから Bodoni-Bold を選択します。

Windows メニュー名は Windows のフォントメニューに表示されるフォント名です。スタイルは、アプリケーション内で特定の PostScript フォントを指定する場合、選択される必要があります。例えば「Bodoni-Bold」を使用する場合、フォントメニューから Bodoni を、スタイルメニューから Bold を選択します。

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
AlbertusMT-Light	Albertus MT Lt	Albertus MT Lt
AlbertusMT	Albertus MT	Albertus MT
AlbertusMT-Italic	Albertus MT It	Albertus MT, Italic
AntiqueOlive-Roman	Antique Olive Roman	Antique Olive Roman
AntiqueOlive-Bold	Antique Olive Bold	Antique Olive Roman, Bold
AntiqueOlive-Italic	Antique Olive Italic	Antique Olive Roman, Italic
AntiqueOlive-Compact	Antique Olive Compact	Antique Olive Compact
Arial-BoldItalicMT	Arial Bold Italic	Arial, Bold Italic
Arial-BoldMT	Arial Bold	Arial, Bold
Arial-ItalicMT	Arial Italic	Arial, Italic
ArialMT	Arial	Arial
AvantGarde-Book	Avant Garde	AvantGarde
AvantGarde-Demi	Avant Garde Demi	AvantGarde, Bold
AvantGarde-BookOblique	Avant Garde BookOblique	AvantGarde, Italic
AvantGarde-DemiOblique	Avant Garde DemiOblique	AvantGarde, Bold Italic
Bodoni	Bodoni	Bodoni
Bodoni-Bold	Bodoni Bold	Bodoni, Bold
Bodoni-Italic	Bodoni Italic	Bodoni, Italic
Bodoni-BoldItalic	Bodoni BoldItalic	Bodoni, Bold Italic
Bodoni-Poster	Bodoni Poster	Bodoni Poster
Bodoni-PosterCompressed	Bodoni PosterCompressed	Bodoni PosterCompressed
Bookman-Light	Bookman	Bookman
Bookman-Demi	Bookman Demi	Bookman, Bold
Bookman-LightItalic	Bookman LightItalic	Bookman, Italic
Bookman-DemiItalic	Bookman DemiItalic	Bookman, Bold Italic
Carta	Carta	Carta
Clarendon-Light	Clarendon Light	Clarendon Light
Clarendon	Clarendon	Clarendon
Clarendon-Bold	Clarendon Bold	Clarendon, Bold

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
CooperBlack	Cooper Black	Cooper Black
CooperBlack-Italic	Cooper Black Italic	Cooper Black, Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC	Copperplate33bc	Copperplate33bc
Copperplate-ThirtyTwoBC	Copperplate32bc	Copperplate32bc
Coronet	Coronet	Coronet
Courier	Courier	Courier
Courier-Bold	Courier Bold	Courier, Bold
Courier-Oblique	Courier Oblique	Courier, Italic
Courier-BoldOblique	Courier BoldOblique	Courier, Bold Italic
Eurostile	Eurostile	Eurostile
Eurostile-Bold	Eurostile Bold	Eurostile Bold
Eurostile-ExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo	Eurostile BoldExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo, Bold
GillSans	GillSans	GillSans
GillSans-Bold	GillSans Bold	GillSans, Bold
GillSans-Italic	GillSans Italic	GillSans, Italic
GillSans-BoldItalic	GillSans BoldItalic	GillSans, Bold Italic
GillSans-Light	GillSans Light	GillSans Light
GillSans-LightItalic	GillSans LightItalic	GillSans Light, Italic
GillSans-Condensed	GillSans Condensed	GillSans Condensed
GillSans-BoldCondensed	GillSans BoldCondensed	GillSans Condensed, Bold
GillSans-ExtraBold	GillSans ExtraBold	GillSans ExtraBold
Goudy	Goudy	Goudy
Goudy-Bold	Goudy Bold	Goudy, Bold
Goudy-Italic	Goudy Italic	Goudy, Italic
Goudy-BoldItalic	Goudy BoldItalic	Goudy, Bold Italic
Goudy-ExtraBold	Goudy ExtraBold	Goudy ExtraBold
Helvetica	Helvetica	Helvetica
Helvetica-Bold	Helvetica Bold	Helvetica, Bold
Helvetica-Oblique	Helvetica Oblique	Helvetica, Italic
Helvetica-BoldOblique	Helvetica BoldOblique	Helvetica, Bold Italic
Helvetica-Narrow	Helvetica Narrow	Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Bold	Helvetica Narrow Bold	Helvetica-Narrow, Bold

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Helvetica-Narrow-Oblique	Helvetica Narrow Oblique	Helvetica-Narrow, Italic
Helvetica-Narrow-BoldOblique	Helvetica Narrow BoldObl	Helvetica-Narrow, Bold Italic
Helvetica-Condensed	Helvetica Condensed	Helvetica Condensed
Helvetica-Condensed-Bold	Helvetica CondensedBold	Helvetica Condensed, Bold
Helvetica-Condensed-Oblique	Helvetica CondensedOblique	Helvetica Condensed, Italic
Helvetica-Condensed-BoldObl	Helvetica CondensedBoldObl	Helvetica Condensed, Bold Italic
HoeflerText-Ornaments	Hoefler Text Ornaments	Hoefler Text Ornaments
JoannaMT	Joanna MT	Joanna MT
JoannaMT-Bold	Joanna MT Bd	Joanna MT, Bold
JoannaMT-Italic	Joanna MT It	Joanna MT, Italic
JoannaMT-BoldItalic	Joanna MT Bd It	Joanna MT, Bold Italic
LetterGothic	Letter Gothic	Letter Gothic
LetterGothic-Bold	Letter Gothic Bold	Letter Gothic, Bold
LetterGothic-Slanted	Letter Gothic Slanted	Letter Gothic, Italic
LetterGothic-BoldSlanted	Letter Gothic BoldSlanted	Letter Gothic, Bold Italic
LubalinGraph-Book	Lubalin Graph	LubalinGraph
LubalinGraph-Demi	Lubalin Graph Demi	LubalinGraph, Bold
LubalinGraph-BookOblique	Lubalin Graph BookOblique	LubalinGraph, Italic
LubalinGraph-DemiOblique	Lubalin Graph DemiOblique	LubalinGraph, Bold Italic
Marigold	Marigold	Marigold
MonaLisa-Recut	Mona Lisa Recut	Mona Lisa Recut
NewCenturySchlbk-Roman	New Century Schlbk	NewCenturySchlbk
NewCenturySchlbk-Bold	New Century Schlbk Bold	NewCenturySchlbk, Bold
NewCenturySchlbk-Italic	New Century Schlbk Italic	NewCenturySchlbk, Italic
NewCenturySchlbk-BoldItalic	New Century Schlbk BoldIt	NewCenturySchlbk, Bold Italic
Optima	Optima	Optima
Optima-Bold	Optima Bold	Optima, Bold
Optima-Italic	Optima Italic	Optima, Italic
Optima-BoldItalic	Optima BoldItalic	Optima, Bold Italic
Oxford	Oxford	Oxford
Palatino-Roman	Palatino	Palatino
Palatino-Bold	Palatino Bold	Palatino, Bold

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Palatino-Italic	Palatino Italic	Palatino, Italic
Palatino-BoldItalic	Palatino BoldItalic	Palatino, Bold Italic
StempelGaramond-Roman	StempelGaramond Roman	StempelGaramond Roman
StempelGaramond-Bold	StempelGaramond Bold	StempelGaramond Roman, Bold
StempelGaramond-Italic	StempelGaramond Italic	StempelGaramond Roman, Italic
StempelGaramond-BoldItalic	StempelGaramond BoldItalic	StempelGaramond Roman, Bold Italic
Symbol	Symbol	Symbol
Tekton	Tekton	Tekton
Times-Roman	Times	Times
Times-Bold	Times Bold	Times, Bold
Times-Italic	Times Italic	Times, Italic
Times-BoldItalic	Times BoldItalic	Times, Bold Italic
TimesNewRomanPS-BoldMT	Times New Roman Bold	Times New Roman, Bold
TimesNewRomanPS- BoldItalicMT	Times New Roman Bold Italic	Times New Roman, Bold Italic
TimesNewRomanPS-ItalicMT	Times New Roman Italic	Times New Roman, Italic
TimesNewRomanPSMT	Times New Roman	Times New Roman
Univers-Extended	Univers Extended	Univers Extended
Univers-BoldExt	Univers BoldExt	Univers Extended, Bold
Univers-ExtendedObl	Univers ExtendedObl	Univers Extended, Italic
Univers-BoldExtObl	Univers BoldExtObl	Univers Extended, Bold Italic
Univers-Light	Univers 45 Light	Univers 45 Light
Univers-Bold	Univers 65 Bold	Univers 45 Light, Bold
Univers-LightOblique	Univers 45 LightOblique	Univers 45 Light, Italic
Univers-BoldOblique	Univers 65 BoldOblique	Univers 45 Light, Bold Italic
Univers	Univers 55	Univers 55
Univers-Oblique	Univers 55 Oblique	Univers 55, Italic
Univers-CondensedBold	Univers 67 CondensedBold	Univers 47 CondensedLight, Bold
Univers- CondensedBoldOblique	Univers 67 CondensedBoldObl	Univers 47 CondensedLight, Bold Italic
Univers-Condensed	Univers 57 Condensed	Univers 57 Condensed

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Univers-CondensedOblique	Univers 57 CondensedOblique	Univers 57 Condensed, Italic
ZapfChancery-MediumItalic	Zapf Chancery	ZapfChancery
ZapfDingbats	Zapf Dingbats	ZapfDingbats

TrueType フォント

Fiery Spark PRO には 10 書体の TrueType フォントが含まれています。

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Apple-Chancery	Apple Chancery	Apple Chancery
Chicago	Chicago	Chicago
Geneva	Geneva	Geneva
HoeflerText-Black	Hoefler Text Black	Hoefler Text Black
HoeflerText-BlackItalic	Hoefler Text Black	Hoefler Text Black, Italic
HoeflerText-Italic	Hoefler Text	Hoefler Text, Italic
HoeflerText-Regular	Hoefler Text	Hoefler Text
Monaco	Monaco	Monaco
New York	New York	New York
Wingdings-Regular	Wingdings	Wingdings

付録 C : トラブルシューティング

本付録では、Fiery Spark PRO の最適性能の維持とトラブルシューティング方法について説明します。

最適性能の維持

Fiery Spark PRO プリントシステムでは、通常はプリンタ用の定期点検や保守あるいは消耗品の再注文などを行う必要があります。これ以外に、システムの性能を維持するために次の事項を実行することを推奨します。

- 不必要な双方向通信の削減

多数のリモートユーザが Fiery ユーティリティまたは Fiery WebTools を使用している場合、特に頻繁に更新を行うと、Fiery Spark PRO の処理速度が低下します。

- ジョブごとの情報を確認してからジョブの印刷時期を決める

印刷設定や用紙の仕様が同じジョブをまとめて印刷するようにして、用紙変更を最小限にとどめてください。また、特別な指示のあるジョブや特殊用紙を必要とするジョブの印刷準備をしている間に、通常のジョブを印刷してください

- 不要な Command WorkStation と Fiery Spark PRO 間接続を減らす

複数の Fiery Spark PRO が Command WorkStation に接続されている場合、使用していない Fiery Spark PRO の接続を解除した方が、通信効率が上がります。

- 「ディスクが一杯です」メッセージ表示中は Fiery Spark PRO 印刷を避ける

このメッセージが表示されたら、「キュー」ウィンドウに長期間待機しているジョブや不要と思われるジョブを削除してください。ディスクスペースが不足しないよう、古いジョブを定期的に削除してください。ジョブの日付は、そのジョブが送信された時のものです。

トラブルシューティング

いろいろな異常を起こす原因となる基本的な状況がいくつかあります。特殊な問題として取り上げる前に、以下の対策をまず検討してみてください。それでも解決しない場合はシステム管理者に問い合わせてください。

印刷上の一般的な問題

印刷上の一般的な問題	対策
Fiery Spark PRO へ接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 他の利用者が Fiery Spark PRO のキャリブレーション中でないかどうか確認してください。 <p>他の利用者が Fiery Spark PRO のキャリブレーションを行っている場合は、「セレクト」で Fiery Spark PRO を選択することはできません。これは、一時に一利用者しか Fiery Spark PRO のキャリブレーションを行えないようにすることと、印刷ジョブが予期しないキャリブレーションを使わないことを保証するためにとられている措置です。</p>
選択できない、または表示されないプリント接続方式がある	<ul style="list-style-type: none"> システム管理者が、Fiery Spark PRO 設定で、プリント接続方式を使用できるように設定する必要があります。使用可能に設定されている接続だけが、選択可能です。
Fiery ユーティリティまたは Command WorkStation から Fiery Spark PRO に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 接続が正しく設定されていることを確認してください。 <p>詳細は『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。</p>
印刷に時間がかかり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> 直接接続ではなく印刷キューまたは待機キューを選択してください。 <p>印刷キューまたは待機キューに印刷する場合、処理と印刷の準備ができるまで、ジョブは Fiery Spark PRO に保存されます。一方、直接接続に印刷する場合、ジョブはその前の印刷ジョブの処理が完了するまで、Fiery Spark PRO に送信されず、コンピュータにとどまります。したがって、ユーザは Fiery Spark PRO にジョブが送られるまで、より長く待つことになります。</p>

印刷上の一般的な問題	対策
<p>Fiery Spark PRO が「プリント (印刷)」コマンドに反応しない (何も印刷されない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Fiery Spark PRO を現在使用するプリンタとして選択していることを確認してください。 印刷前に Mac OS、Windows、または UNIX ワークステーションから Fiery Spark PRO を現在使用するプリンタとして選択している必要があります。 • プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。 誰かがプリンタの電源を切っている場合があります。自動パワーセーブモード (余熱モード) になっている場合があります。プリンタがオフであっても、Fiery Spark PRO 自体の電源がオンであれば、Fiery Spark PRO はセレクトに現れます。 • ジョブが PostScript エラーを起こしていないか確認してください。 PostScript エラーを知るには Fiery Spark PRO 設定の「PS 設定 : PS エラー発生まで印刷」オプションで「はい」を選択しておいてください。 Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用するか、オペレータに尋ねてジョブ状況をチェックしてください。これらのアプリケーションでは、PostScript エラーの発生したジョブは赤で表示されます。
<p>トレイにない用紙サイズを要求するメッセージが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ジョブを取り消して、次の処置を行ってください。 Fiery Spark PRO 「設定」で「デフォルト用紙サイズ」を「アメリカ式」または「日本式」に変更すると、用紙サイズを変更できます。 アプリケーションから印刷する場合は、「ページ (用紙) 設定」ダイアログボックスで用紙サイズを変更してください。

印刷結果の品質の問題

特定のアプリケーションでのカラー印刷およびカラー出力の最適化についての詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

問題	対策
ジョブのプリント設定と印刷結果が一致しない	<ul style="list-style-type: none"> 他でジョブの設定を上書きしていないかどうか確認してください。 プリントオプションの書き換えについての詳細は、「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。
印刷結果の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションに Fiery Spark PRO の PPD ファイルが必要かどうか確認してください。 Adobe PageMaker から印刷する場合、アプリケーション用に正しくプリンタ記述ファイルがインストールされている必要があります。プリンタファイルのインストールについては、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。 Fiery Spark PRO システムがキャリブレートされていることを確認してください。 キャリブレーションについては、『カラーガイド』を参照してください。
色分解が正しく組合わない	<ul style="list-style-type: none"> ファイルが色分解用に作成されていることを確認してください。 色分解または DCS フォーマットを印刷する場合、「色分解の組合せ」プリントオプションを「オン」にしてください。 「色分解の組合せ」オプションが「オン」の場合は、4 色すべてが一枚のページに印刷されます。「オフ」の場合は、4 色の各色対応のページが一枚ずつグレースケールで印刷されます。
画像のレジストレーションまたはカラーが予期していたものと違う	<ul style="list-style-type: none"> システム管理者に連絡し、テストページの印刷をしてください。 プリンタに問題があるかもしれません。テストページが正常な出力を示している場合、アプリケーションの中で問題を解決してください。テストページが正常な出力を示さない場合は、キャリブレーションを行うか、別の方法による調節が必要かもしれません。

問題	対策
印刷したファイルが暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">• PostScript ファイルまたは EPS ファイルを印刷する場合、アプリケーションまたは Fiery Downloader から「明るさ」オプションを使用し、画像を明るくできます。
カラー出力が正しくない	<ul style="list-style-type: none">• システム管理者に現在のキャリブレーションについて問い合わせてください。 異なるターゲットを使用しているか、長い間プリンタがキャリブレートされていない場合、キャリブレーションが必要な場合があります。
カラーファイルがモノクロで印刷される	<ul style="list-style-type: none">• 「プリントオプション」(Mac OS) ダイアログボックスの「カラー」欄で「白黒」が選択されていないことを確認してください。• 「カラーモード」プリントオプションで「グレースケール」ではなく「CMYK」が選択されていることを確認してください。
デスクトップカラーセパレーション (DCS) 形式の画像が正しく印刷されない	<ul style="list-style-type: none">• アプリケーションの「プリント (印刷)」ダイアログボックスで、色分解を送るためのオプションが正しく選択されていることを確認してください。• 印刷しようとするすべての色分解用のファイルがあることを確認してください。• 「色分解の組合せ」オプションを「オン」にしてください。 このオプションを選択すると、高解像度ファイルが組合わされて一つの画像として印刷されます。「オフ」の場合は低解像度のマスターファイルが印刷されます。
QuickDraw のフィルパターンがベタで印刷される	<ul style="list-style-type: none">• Adobe PostScript プリンタドライバを使用してください。



Fiery Downloader の問題

問題	対策
一般的問題	<ul style="list-style-type: none">最新バージョンの Fiery ユーティリティを使用してください。 Fiery Spark PRO システムソフトウェアをアップグレードした場合、古いバージョンの Fiery ユーティリティを Mac OS / Windows から削除して、新バージョンをインストールしてください。接続構成が正しく行われていることを確認してください。 『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。
Fiery Downloader へ接続できない	<ul style="list-style-type: none">他の利用者が Fiery Spark PRO のキャリブレーション中でないかどうか確認してください。 他の利用者が Fiery Spark PRO のキャリブレーションを行っている場合は、「セレクト」で Fiery Spark PRO を選択することはできません。これは、一時に一利用者しか Fiery Spark PRO のキャリブレーションを行えないようにすることと、印刷ジョブが予期しないキャリブレーションを使わないことを保証するためにとられている措置です。

問題	対策
Fiery Downloader を使って EPS ファイルが印刷できない	<ul style="list-style-type: none"> • 「オプション」ダイアログボックスの「showpage の追加」(Mac)、または「EPS ファイルに 'showpage' を追加する」(Windows) オプションを使って印刷してみてください。 このオプションをオンにすると、印刷ジョブの最後に 'showpage' PostScript 言語コマンドが追加されます。アプリケーションの中には、EPS ファイル作成時に、ファイルが必要とする PostScript 言語コマンドを省略するものがありますが、このようなアプリケーションで EPS ファイルを印刷する場合は、「EPS ファイルに Showpage を追加する」オプションを選択しておく必要があります。 この処置後も、Fiery Downloader を使った EPS ファイル印刷に問題がある場合は、ファイルを作成したアプリケーションから印刷してみてください。 • EPS ファイルがプレビューなしで保存されていることを確認してください。 プレビューはページレイアウトアプリケーションに画像を配置する場合に使用されますが、画像を直接ダウンロードする場合には問題発生の原因となります。 • ジョブに PostScript エラーが含まれていないことを確認してください。 Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用するか、オペレータに尋ねてジョブ状況をチェックしてください。これらのアプリケーションでは、PostScript エラーの発生したジョブは赤で表示されます。
Fiery Downloader からのフォントのダウンロードに問題がある	<ul style="list-style-type: none"> • システム管理者に直接接続が使用可能であることを確認してください。 フォントのダウンロードには、直接接続を使用する必要があります。
Fiery Downloader のジョブの後で余分に白紙が出る	<ul style="list-style-type: none"> • 「showpage の追加」(Mac) または「EPS ファイルに 'showpage' を追加する」(Windows) オプションを「オフ」にしてください。 このオプションは特別な PostScript コマンドを追加し、それが不必要な場合には余分の白紙を印刷する原因となります。



Fiery WebTools 一般の問題

問題	対策
Fiery WebTools へ接続できない、または接続に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">• Fiery Spark PRO「設定」で Web サービスを使用できるように設定してあることを確認します。• Fiery Spark PRO の IP アドレスおよび DNS 名が、正しく設定してあることを確認します。 Fiery Spark PRO 設定情報ページを印刷するか、またはシステム管理者に確認してください。• 履歴 (Microsoft インターネットエクスプローラ) をクリアしてください。
Windows XP で Fiery WebTools が起動しない。	<ul style="list-style-type: none">• ユーザソフトウェア CD の「CStation4」フォルダから「msjv86.exe」をダブルクリックし、Microsoft VM をインストールしてください。

索引

A

Adobe Multiple Master フォント 4-7
Adobe PostScript プリンタドライバ
Mac OS 用 2-1
Adobe Type 1 フォント 4-7, B-1
ASCII テキストファイル
UNIX 印刷 3-2

C

CMYK シミュレーションプロファイル
オプション A-10
CMYK シミュレーション方法オプション
A-11
Command WorkStation
印刷ジョブの管理 5-1
プリントオプションの書き換え 1-5,
2-5, 2-10
プリント設定の書き換え A-2

E

EPS (Encapsulated PostScript) ファイル
ダウンロード印刷 4-1
ダウンロード問題 C-7

F

Fiery 最適性能の維持 C-1
Fiery、動作原理 xii
Fiery Downloader 4-2
Mac OS 2-1
欧文 PostScript プリンタフォントの
管理 4-1
機能 4-1
接続タイプ 4-5
ダウンロード印刷 4-1, 4-3
プリンタの選択 4-2
Fiery Downloader の問題 C-6
Fiery Spooler xi, 5-1
プリントオプションの書き換え 1-5,
2-5, 2-10
プリント設定の書き換え A-2
Fiery WebSpooler 5-1
プリント設定の書き換え A-2

Fiery WebTools

「WebLink」5-1, 5-4
WebSpooler xi
アクセス xiv
「状況」5-1, 5-3
「プリンタモニタ」5-1, 5-4
プリントオプションの書き換え 1-5,
2-5, 2-10
ホームページ 5-2

Fiery WebTools の問題 C-8

Fiery 印刷タブ 1-3

File ポート、ファイルの保存 1-16

H

Hot Folder

FailFolder 6-8
MoveFolder 6-8
WorkFolder 6-8
アイコン 6-3
印刷ジョブをアーカイブ 6-9
概要 6-1
数 6-1
環境設定 6-7
コントロールパネル 6-2
サーバへ接続 6-4
作成、追加 6-4
サブフォルダ 6-8
使用可能 / 停止 6-6
除去 6-6
ジョブログ 6-10
制約 6-4
ファイル形式の制限 6-2
プリントオプション設定 6-9
プロパティ設定 6-8
起動 6-3

M

Mac OS
印刷 2-1
Mac OS 9.x 以前 2-1
Mac OS X (Classic)2-1
Mac OS X (Native)2-8

- P**
- PDF (Portable Document Format)ファイル
 - 印刷 4-5
 - ダウンロード印刷 4-1
 - PostScript ファイル
 - ダウンロード印刷 4-1
 - PostScript ファイル
 - UNIX 印刷 3-2
 - PostScript プリント記述 (PPD) ファイル
 - xii, 1-2, 2-1
 - PostScript プリントドライバ
 - xii
 - PPD デフォルト設定
 - A-2
- R**
- RGB 色分解オプション
 - A-9
 - RGB 色度座標オプション
 - A-8
 - RGB ソースプロファイルオプション
 - A-7
- S**
- showpage の追加オプション
 - 4-6
- T**
- TCP/IP 印刷設定
 - 3-1
 - TIFF (Tagged Image File Format) ファイル
 - ダウンロード印刷 4-1
 - TrueType フォント
 - 4-7, B-6
- U**
- UNIX**
- BSD
 - 3-2
 - cancel コマンド
 - 3-3
 - lp コマンド
 - 3-2
 - lpq コマンド
 - 3-2
 - lpr コマンド
 - 3-2
 - lprm コマンド
 - 3-3
 - lpstat コマンド
 - 3-2
 - Solaris 2.x
 - 3-2
 - SunOS 4.1.x
 - 3-2
 - System V
 - 3-2
 - 印刷
 - 3-1
 - 印刷コマンド (lpr, lpq, lprm)
 - 3-1
- W**
- 「WebLink」 WebTool
 - 5-1, 5-4
 - Windows
 - 印刷
 - 1-1
 - Windows 98/Me/NT40
 - 印刷
 - 1-2
 - プリントオプション
 - 1-2
 - Windows
 - アプリケーションからの印刷
 - 1-1
- あ**
- 明るさオプション
 - 4-6, A-2, A-6
- い**
- 色分解の組み合わせオプション
 - A-14
 - 色分解の組合せオプション
 - A-13
 - 印刷
 - Mac OS コンピュータ
 - 2-1
 - File ポートに
 - 1-16
 - UNIX
 - 3-1
 - Windows 98/Me/NT40
 - 1-2
 - Windows アプリケーションから
 - 1-1
 - 印刷結果の品質の問題
 - C-4
 - 印刷上の一般的な問題
 - C-2
 - 印刷接続タイプ
 - 印刷キュー
 - xiii
 - 待機キュー
 - xiii
 - 直接接続
 - xiii
 - 印刷の向きオプション
 - A-6
 - 印刷モードオプション
 - A-7
- お**
- 欧文フォント
 - B-1
- か**
- 解像度オプション
 - A-5
 - 拡大、縮小オプション
 - A-14
 - 拡大縮小オプション
 - A-6
 - カスタムページ設定
 - 2-6
 - カスタム用紙サイズ設定
 - Windows 2000/XP
 - 1-14
 - Windows 98/Me
 - 1-11
 - Windows NT40
 - 1-12
 - カラーの表現オプション
 - A-9
 - カラーの問題
 - C-5
 - カラーモードオプション
 - A-7
 - ガンマオプション
 - A-8

き

給紙方法オプション 2-3, A-4

し

指示 2-10

指示オプション 1-4, 2-4, A-13

出力プロファイルオプション A-13

「状況」WebTool 5-1, 5-3

状況ウィンドウ 4-2

ショートカット 1-10

ジョブ注釈メモ 1-4, 2-4, 2-10

ジョブ注釈メモオプション A-13, 1-4

ジョブテンプレートの作成 1-7

す

スクリーンオプション A-5

スポットカラーマッチングオプション
A-12

ち

直接接続

フォントのダウンロード時に必須
C-7

つ

ツールバー 4-2

て

テキストと画像に純ブラックを使用オ
プション A-12

デスクトップカラーセパレーション
(DCS) 形式 C-5

デフォルトに設定

Mac OS 2-5

Windows 98/Me/NT40 1-5

と

トラブルシューティング C-1, C-2

EPS ファイル C-7

Fiery Downloader の問題 C-6

Fiery WebTools の問題 C-8

印刷結果の質の問題 C-4

印刷上の一般的な問題 C-2

カラーの問題 C-5

トランスファ関数

Adobe Photoshop 4-6

トレイ選択 2-3

は

排紙オプション A-5

倍率オプション A-6

白色点オプション A-8

ふ

ファイルのダウンロード 4-4

ファイルの保存

外部で印刷時 1-16

フォントのダウンロード 4-4

部数オプション 4-6, A-3

プリンタ固有オプション 2-5

プリンタのデフォルト値 xiii

プリンタフォントのダウンロード 4-8

「プリンタモニタ」WebTool 5-1, 5-4

プリントオプション A-1

Mac OS 2-2, 2-8

Windows 98/Me/NT40 1-2

デフォルト設定 A-1

プリンタ固有 1-5

プリントオプション設定

Windows 98/Me/NT40 1-2

Mac OS 2-2, 2-8

へ

ページ指定オプション A-2

み

ミラーオプション A-6

ゆ

ユーザソフトウェア xiii

よ

用紙サイズオプション 2-6, A-3

用紙シミュレーションオプション A-11

用紙の種類オプション A-4

ら

ラストライズ xii

り

リモートユーザ xi

両面オプション A-5, A-14

れ

レイアウトオプション A-6

ろ

ロックアイコン 4-9

ロックされているフォント 4-9

わ

和文フォント B-1